

2020 年度

# 歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

# 目 次

頁

## 形態機能成育学講座

解剖学分野	1
口腔解剖学分野	3
生理学分野	5
口腔小児科学分野	6
歯科矯正学分野	8

## 口腔生物再生医工学講座

生化学分野	13
微生物学分野	15
歯周病学分野	16
基礎生物学分野	19
基礎化学分野	20

## 機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野	21
歯科補綴学分野(有床義歯)	23
歯科補綴学分野(クラウン・ブリッジ)	25
保存治療学分野	29
オーラル・リハビリテーション学分野	31
摂食嚥下リハビリテーション学分野	33
基礎物理学分野	35

## 病態診断治療学講座

病理学分野	36
薬理学分野	38
総合臨床歯科学分野	41
歯科放射線学分野	42
口腔顎顔面外科学分野(第1分野)	44
口腔顎顔面外科学分野(第2分野)	47
高齢者歯科学分野	50
歯科麻酔学分野	51
歯科法医学分野	55

## 社会健康科学講座

口腔衛生学分野	57
スポーツ歯学分野	60
障がい者歯科学分野	62

## 総合臨床医学講座

内科学分野	63
耳鼻咽喉科学分野	64

## 明海大学歯科医学総合研究所

M-RIO (Meikai University Research Institute of Odontology)	65
------------------------------------------------------------	----

# 形態機能成育学講座

解剖学分野

口腔解剖学分野

生理学分野

口腔小児科学分野

歯科矯正学分野

# 解剖学

## A. 著書・訳本

### 2. 訳本

- 1) 人体解剖カラーリングブック 補訂版：天野 修，千田隆夫，鳥橋茂子（監訳），丸善出版，2020

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 崎山浩司，小笠原悠大，小野澤豪，長坂 新，坂東康彦，天野 修：筋再生に  
関与する High mobility group box 1 (HMGB1)，第 126 回日本解剖学会総会・  
全国学術集会，名古屋（オンライン），2021.3
- 2) 坂東康彦，徳田信子，小野澤豪，小笠原悠大，長坂 新，崎山浩司，大和田祐二，  
天野 修：FABP5 欠損マウス脛骨のセプトクラストにおける FABP4 発現の増大，  
第 126 回日本解剖学会総会・全国学術集会，名古屋（オンライン），2021.3
- 3) 長坂 新，崎山浩司，坂東康彦，小笠原悠大，小野澤豪，天野 修：  
Establishment of live imaging method in the developing mouse palatal shelves，  
第 126 回日本解剖学会総会・全国学術集会，名古屋（オンライン），2021.3
- 4) 崎山浩司，小笠原悠大，小野澤豪，長坂 新，坂東康彦，天野 修：筋ジストロ  
フィーモデルマウスの筋再生と High mobility group box 1(HMGB1)との関係，  
第 62 回歯科基礎医学会学術大会・総会，鹿児島（オンライン），2020.9
- 5) 坂東康彦：マウス脛骨発生過程における septoclast の由来と発生，第 62 回歯科  
基礎医学会学術大会・総会，鹿児島（オンライン），2020.9
- 6) 長坂 新，崎山浩司，坂東康彦，小笠原悠大，小野澤豪，天野 修：胎生期  
マウスの外側口蓋突起におけるライブ観察法の確立，第 62 回歯科基礎医学会学術  
大会・総会，鹿児島（オンライン），2020.9
- 7) 小笠原悠大，崎山浩司，小野澤豪，長坂 新，坂東康彦，天野 修：舌癌における  
筋線維再生への High mobility group box 1 (HMGB1) の関与，第 62 回歯科  
基礎医学会学術大会・総会，鹿児島（オンライン），2020.9
- 8) 小野澤豪，小笠原悠大，長坂 新，坂東康彦，崎山浩司，天野 修：Tight  
approximation between fibroblasts and intercalated ducts in rat salivary  
glands，第 62 回歯科基礎医学会学術大会・総会，鹿児島（オンライン），2020.9
- 9) 崎山浩司：High mobility group box 1(HMGB1)が筋組織発生に与える影響，  
第 41 回明海歯科医学会学術大会，埼玉，2020.6

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 長坂 新, 崎山浩司, 坂東康彦, 小笠原悠大, 小野澤豪, 天野 修 : 胎生期マウスの外側口蓋突起におけるライブ観察法の確立, 第108回日本解剖学会関東支部学術集会, 東京 (オンライン), 2020.10
- 2) 小野澤豪, 長坂 新, 小笠原悠大, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修: ラット唾液腺における腺房・導管系と線維芽細胞の関係, 第108回日本解剖学会関東支部学術集会, 東京 (オンライン), 2020.10

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 崎山浩司: インプラント治療に必要な解剖学, 歯科医師生涯研修(インプラント・ベーシックプログラム10日間コース), 浦安, 2020.5

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂東康彦: septoclast の軟骨吸収における異なる脂肪酸結合タンパク発言の意義, 学術研究助成基金助成金, 若手研究, 19K18949
- 2) 長坂 新: 口蓋突起挙上における細胞動態および力学的要素のライブ観察による解析, 学術研究助成基金助成金, 若手研究, 20K18463

##### 3. 宮田研究奨励金 (A)

- 1) 長坂 新: 二次口蓋形成過程における細胞形態および動態の解析, 宮田研究奨励金 (A)

## 口腔解剖学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) “Asami R, Aboshi H, Iwawaki A, Ishii T, Ohtaka Y, Saka H”, Comparison of Age Estimation Accuracy for Maxillary Premolars Using Micro CT, “明海歯科医学 49(2), 78-87”, 2020, 12
- 2) “Iwawaki A, Otaka Y, Asami R, Ishii T, Kito S, Tamatsu Y, Aboshi H, Saka H”, Comparison of air dose and operator exposure from portable X-ray units, “Legal Medicine 47”, 2020, 11
- 3) “Kitano VJF, Ohyama Y, Hayashida C, Ito J, Okayasu M, Sato T, Ogasawara T, Tsujita M, Kakino A, Shimada J, Sawamura T and Hakeda Y”, LDL uptake-dependent phosphatidylethanolamine translocation to the cell surface promotes fusion of osteoclast-like cells., “Journal of Cell Science, 133(10):jcs243840. doi: 10.1242/jcs.243840.”, 2020, 5
- 4) “大高祐聖, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 鬼頭慎司”, 撮影補助具による歯科的個人識別時の術者被曝低減について, “Forensic Dental Science 13, 14-16”, 2020, 9

### C. その他の刊行物など

- 1) 林田千代美, 2019 年夏のスコットランド紀行-ビフォーコロナ-(1)エディンバラ / Summer 2019 Scotland Journey - Before COVID-19 - (1)Edinburgh, エヌエフアイ 合同会社, New Food Industry (第 62 巻, 第 11 号, 819-824), 2020, 11
- 2) 林田千代美, 2019 年夏のスコットランド紀行-ビフォーコロナ-(2)ファイフ, エヌエフアイ 合同会社, New Food Industry (第 62 巻, 第 12 号, 911-915), 2020, 12
- 3) 林田千代美, 2019 年夏のスコットランド紀行-ビフォーコロナ-(3)スコティッシュ ボーダーズ, エヌエフアイ 合同会社, New Food Industry (第 63 巻, 第 1 号, 88-92), 2021, 1

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) “浅見瑠璃, 網干博文, 村山良介, 岩脇淳志, 大高祐聖, 近藤真啓, 石井猛, 小方綾乃, 坂英樹”, Cameriere 法によるオルソパントモグラムを用いた日本人 下顎小白歯の歯髓腔面積比からの年齢推定, “第 104 次日本法医学会学術全国集会, 京都”, 2020, 9

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 林田千代美, 佐藤卓也, “骨細胞のみを含む骨片(osteocyte-enriched bone fragment, OEBF)培養系における副甲状腺ホルモンPTHの作用について”, 日本解剖学会第108回関東支部学術集会, オンライン開催(主幹; 順天堂大学医学部), 2020, 10

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 佐藤卓也(研究代表者), 副甲状腺ホルモンの骨形成促進作用を仲介する骨細胞由来の骨形成促進因子を同定する, 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 2019, 4
- 2) 林田千代美(研究代表者), 骨細胞のPTH応答性を利用した新たな骨リモデリング調節因子の探索, 科学研究費助成事業 若手研究, 2019, 4
- 3) 林田千代美(研究分担者), 副甲状腺ホルモンの骨形成促進作用を仲介する骨細胞由来の骨形成促進因子を同定する(研究代表者; 佐藤卓也), 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 2019, 4

# 生理学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 村本和世, 横須賀誠, 感覚制御 (第 8 章 動物の脳・神経系 - 8.4. 脳の働き 8.4.2. 節). In: 動物の事典 (初版) 塚原伸治, 市川眞澄, 横須賀誠 (第 8 章編集担当), 末光隆志 (総編集), 2020.11.1., 朝倉書店, 東京, pp.396-400

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Naoko Mizoguchi, Kazuyo Muramoto, Masayuki Kobayashi, Olfactory signals from the main olfactory bulb converge with taste information from the chorda tympani nerve in the agranular insular cortex of rats, *Pflügers Archive - European Journal of Physiology*, 472: 721-732. DOI: 10.1007/s00424-020-02399-w, 2020.5

### 2. 総説

- 1) 村本和世, 味と匂いを統合する脳内機構, *歯科薬物療法*, 39: 1-7. 2020.4 (一般社団法人日本歯科薬物療法学会誌)
- 2) 村本和世, 食の風味形成に関わるニオイ受容機構とその構造的基盤, *香料 KORYO*, 288: 27-35. 2020.12 (日本香料協会)

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 村本和世, 脳における味と匂いの統合 ~味覚異常の薬物療法の確立を目指して~, 第 40 回日本歯科薬物療法学会, web 開催, 2020.6.27 ~ 7.26

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 基盤研究 (C): 村本和世 (代表), 脳内相互作用によるフレーバー形成機構の解明 (平成 30 年度~令和 3 年度: 18K06877)
- 2) 基盤研究 (C): 溝口尚子 (代表), 食べる意欲に欠かせない風味認識の中樞神経機構の解明 (平成 29 年度~令和 3 年度: 17K12054)



# 口腔小児科学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 荻原 孝, 星野倫範, Chapter13 口腔機能の改善 1 悪習癖への対応. In: 小児歯科はじめましょう, 田中晃伸, 仲野和彦, 権 暁成編, デンタルダイヤモンド社, 東京, pp158-161, 2020, 6

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 根本莉奈, 小棚雅寛, 河村 亨, 今井一男, 酒井純, 樽本憲人, 池淵研二, 光武耕太郎, 村上 孝, 前崎繁文, 関みつ子, 前田卓哉. ナノポア型ポータブル・シークエンサーMinION(TM)を用いた肺炎球菌の同定. 臨床病理 68(4) 289-295, 2020
- 2) Jiwon Lee, Youngbae Yoon, Eun Jin Kim, Donghyun Lee, Yeongjun Baek, Chika Takano, Bin Chang, Takahiro Iijima, Paul E. Kilgore, Satoshi Hayakawa, Tomonori Hoshino, Dong Wook Kim, Mitsuko Seki. 23-valent polysaccharide vaccine (PPSV23)-targeted serotype-specific identification of *Streptococcus pneumoniae* using the loop-mediated isothermal amplification (LAMP) method. PLOS ONE 16(2) e0246699, 2021

### 2. 全国学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 関みつ子. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) を理解する. 第 32 回小児口腔外科学会総会・学術大会 第 7 回教育講演会, 福岡 (誌上開催) 2020, 11

#### (3) 一般演題

- 1) 関みつ子, 荻原 孝, 中村昭博, 星野倫範, メタロ  $\beta$ -ラクタマーゼ遺伝子を有する多剤耐性菌簡易検出法の開発, 明海歯科医学会第 41 回学術大会, 埼玉, 2020, 7
- 2) 池田英史, 江田康輔, 棚瀬康介, 大橋英夫, 荻原 孝, 駒澤大悟, 星野倫範, 多数歯の外傷性脱臼により再植した乳歯の予後管理を行った 1 例, 第 58 回日本小児歯科学会大会, 沖縄 (誌上開催), 2020, 5
- 3) 高本千聖, 中村昭博, 駒澤大悟, 飯島孝太, 荻原 孝, 星野倫範, 当科における上顎正中過剰歯の臨床統計的検討, 第 32 回日本小児口腔外科学会学術大会, 福岡 (誌上開催), 2020, 11

- 4) 吉田美香子, 女ヶ沢美貴, 星野倫範, 非症候群性頭蓋縫合早期癒合症患児の1例, 第37回日本障害者歯科学会, 横須賀 (Web開催), 2020, 11

### 3. 地方会

#### (2) シンポジウム

- 1) 飯島孝太, SARS-CoV 2 簡易迅速検出法の開発, 日本小児歯科学会関東地方会 Web セミナー, (Web開催), 2021, 3

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 星野倫範 (研究代表者) 基盤研究(C) LAMP 法による誤嚥性肺炎起炎菌の迅速同定検出法の開発と口腔ケアへの有効性、2020-04-01 - 2023-03-31、4,290 千円 (直接経費: 3,300 千円、間接経費: 990 千円)

#### 2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 関みつ子. Identification of the standard strain of *M. tuberculosis* in Asian region. 日本学術振興会二国間交流事業共同研究 韓国との共同研究 (NRF)

#### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 関みつ子. IMP および VIM 型メタロ  $\beta$ -ラクタマーゼ遺伝子を有する多剤耐性菌簡易検出法の開発, 宮田研究奨励金 (A)

# 歯科矯正学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Tsuchiya T, Hasegawa N, Yugawa M, Sasaki A, Suda N and Adachi K: Different Therapeutic Effects of CO<sub>2</sub> and Diode Laser Irradiation on Tooth Movement-Related Pain. *Front Neurol*, 2020,5, doi: 10.3389/fneur.2020.00481.
- 2) Machiya A, Tsukamoto S, Ohte S, Kuratani M, Suda N, Katagiri T. Smad4-dependent transforming growth factor- $\beta$  family signaling regulates the differentiation of dental epithelial cells in adult mouse incisors. *Bone*. 2020 Aug;137:115456. doi: 10.1016/j.bone.2020.115456. Epub 2020 May 27.
- 3) Toyota A, Shinagawa R, Mano M, Tokioka K, Suda N. Regeneration in Experimental Alveolar Bone Defect Using Human Umbilical Cord Mesenchymal Stem Cells. *Cell Transplant*. 2021 Jan-Dec;30:963689720975391. doi: 10.1177/0963689720975391.
- 4) 山口 浩司, 佐々木 会, 川尻 朱美, 藤本 航大, 上里 忠成, 豊田 亜希子, 須田 直人, 頭蓋冠形態と下顎窩の位置の三次元解析(第二報), “非対称を伴う骨格性下顎前突症例を用いた検討,” 日本顎変形症学会雑誌 30 巻 4 号 Page267-280(2020.12)
- 5) 片桐 渉, 小林 正治, 佐々木 朗, 須佐美 隆史, 須田 直人, 田中 栄二, 近津 大地, 富永 和宏, 森山 啓司, 山城 隆, 齋藤 功, 高橋 哲. 本邦における外科的矯正治療の実態調査 -2017 年度日本顎変形症学会実態調査の結果より-, 日本顎変形症学会雑誌 30 巻 3 号 Page213-225(2020.9)

### 2. 総説

- 1) 須田 直人. 咬合学確立のために知っておきたい歯の萌出の分子基盤 歯の萌出路と萌出力(解説) 歯界展望 (0011-8702)136 巻 5 号 Page1105-1111(2020.11)
- 2) 須田直人. 咬合学確立のために知っておきたい歯の萌出の分子基盤 2 歯の萌出方向とその異常. 歯界展望 136 巻 6 号 Page1312-1317(2020.12)

### 3. 症例報告

- 1) 上里 忠成, 佐々木 会, 川尻 朱美, 東金 由莉, 長谷川 紘也, 真野 樹子, 重松 久夫, 坂下 英明, 須田 直人. 上顎骨の下方移動後にチタンメッシュプレートにより骨片固定した顔面非対称の 2 例, “日本顎変形症学会雑誌 30(1), 18-32”, 2020,4
- 2) 佐々木 会, 藤本 舞, 藤本 航大, 須田 直人, 片顎抜歯と片側拡大を行った両側臼歯が交叉咬合の骨格性 III 級症例, “東京矯正歯科学会雑誌 30(2), 92-97”, 2020.12

- 3) 藤本舞、佐々木会、藤本航大、真野樹子、坂下英明、時岡一幸、須田直人. Le Fort I 型骨切り術により上顎骨の前下方移動と yawing の改善を図った左側唇顎口蓋裂の 1 例. 日本口蓋裂学会雑誌 45 (3) , 225-236.

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

##### (2) シンポジウム

- 1) Naoto Suda. Early alveolar cleft closure using human umbilical cord mesenchymal stem cells in experimental animal model. "9th International orthodontic congress, Yokohama, Oct4-6<sup>th</sup>, 2020.

##### (3) 一般演題

- 1) Mikiko MANO, Naoko NOJIRI, Mai FUJIMOTO, Rei SHINAGAWA, Masaharu SUZUKI, Yuri MINAMI, Hiroya HASEGAWA, Naoto SUDA. Use of intraoral scanner in presurgical infant orthopedics for children with cleft lip and palate. The 9th International Orthodontic Congress, 横浜 (Web 開催) ,2020,10
- 2) Yuichiro OTSUKA, Jun SHIMADA, Naoto SUDA, 3D evaluation of nasal morphology and the position of ANS in a patient undergone subspinal Le Fort I osteotomy with alar base cinch suture, 9th International orthodontic congress, 横浜 (Web 開催) ,2020,10
- 3) Hiroya HASEGAWA, Tadashige UESATO, Mikiko MANO, Hisao SHIGEMATSU, Hideaki SAKASHITA and Naoto SUDA, A facial asymmetric case in which maxillary segment was moved inferiorly and fixed with mesh-plates ,The 9th International Orthodontic Congress, 横浜 (Web 開催) ,2020,10
- 4) Aoi Minoda, Yuichiro OTSUKA, Shinji KITO, Naoto SUDA, Accuracy of 3D images of hard tissues reconstructed by cone beam CT and multidetector CT, "9th International orthodontic congress, 横浜 (Web 開催) ,2020,10
- 5) Kouta Fujimoto, Au SASASKI, Akemi KAWAJIRI, Koji YAMAGUCHI, Takafumi OSHIMA, Yuri TOGANE, Yuichiro OTSUKA, Naoto SUDA, Relation between the masticatory muscles and mandibular body lengths.-3D analysis on mandibular protrusion cases without asymmetry- ,9th International orthodontic congress, 横浜 (Web 開催) ,2020,10
- 6) Akiko TOYOTA, Rei Shinagawa, Naoto Suda. Human umbilical cord mesenchymal stem cells are useful bioresource for experimental alveolar cleft regeneration. The 9th International Orthodontic Congress, 横浜 (Web 開催) ,2020,10
- 7) Mai FUJIMOTO, Au SASAKI, Kouta FUJIMOTO, Mikiko MANO, Tsutomu NOMURA, Naoto SUDA. Computational fluid dynamics analysis of a nasal obstruction

- case with mandibular protrusion undergone maxillary advancement. 9th International orthodontic congress, 横浜 (Web 開催), 2020, 10
- 8) Misato Yukawa, Alteration of satellite glial GFAP expression by laser irradiation in experimental tooth movement model. "The 9th International Orthodontic Congress, 横浜 (Web 開催), 2020, 10
- 9) Mikiko Mano, Naoto Suda. Use of intraoral scanner in presurgical infant orthopedics for children with CLP, ACPA's (American Cleft Palate-Craniofacial Association) Virtual 78th Annual Meeting, Portland, Oregon (Web 開催), April 29 - May 1, 2021
- 10) Akiko Toyota, Mikiko Mano, Naoto Suda. Human umbilical cord mesenchymal stem cells are useful bioresource for experimental alveolar cleft regeneration, ACPA's (American Cleft Palate-Craniofacial Association) Virtual 78th Annual Meeting, Portland, Oregon (Web 開催), April 29 - May 1, 2021

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 真野樹子、須田直人：第3回認定師申請単位取得セミナー 矯正治療後の片側性唇顎口蓋裂症例の咬合と歯列について－多施設共同研究の結果から－。第44回日本口蓋裂学会総会・学術集会，愛知，2020, 6

### (3) 一般演題

- 1) 大塚雄一郎、長谷川尚哉、大島隆史、蛇川東嗣、嶋田淳、須田直人，下顎枝舌側の皮質骨形状が short lingual osteotomy 施行時の分割線に与える影響，"第30回日本顎変形症学会総会・学術大会，新潟 (Web 開催)"，2020, 6
- 2) 大塚雄一郎，顎顔面三次元シミュレーションモデルにおける内側翼突筋自動抽出システムの開発，"第41回明海歯科医学会学術大会，坂戸"，2020, 7
- 3) 佐々木会、藤本舞、藤本航大、園川拓哉、上里忠成、東金由前、大塚雄一郎、真野樹子、嶋田淳、須田直人，呼吸機能の改善を目的として上顎骨前方移動を施行した骨格性下顎前突開咬症例，"第30回日本顎変形症学会総会・学術大会，新潟 (Web 開催)"，2020, 6
- 4) 長谷川紘也，骨代謝における遺伝子治療薬について，"明海歯科医学会第41回学術大会，坂戸"，2020, 7
- 5) 野尻尚子、真野樹子、藤本舞、品川令、土屋隆子、鈴木大喜、長谷川紘也、須田直人，術前顎矯正治療における光学印象の試み－第4報：唇顎口蓋裂児における撮像－，"第44回日本口蓋裂学会総会・学術集会，愛知"，2020, 6
- 6) 藤本航大、佐々木会、川尻朱美、山口浩司、大島隆史、東金由前、大塚雄一郎、須田直人，側方偏位を伴わない骨格性下顎前突症における下顎骨体長と咀嚼筋の

- 特徴, “第 30 回日本顎変形症学会総会・学術大会,新潟 (Web 開催)”, 2020, 6
- 7) 豊田亜希子、佐々木会、上里忠成、東金由和、山口浩司、藤本航大、園川拓哉、井上勝元、重松久夫、此川東嗣、龍田恒康、真野樹子、大塚雄一郎、坂下英明、嶋田淳、須田直人, 明海大学病院の顎変形症治療における歯科矯正用アンカースクリューの検討, “第 30 回日本顎変形症学会総会・学術大会,新潟 (Web 開催)”, 2020, 6
- 8) 豊田亜希子, 又平悠里恵, 山口浩司, 藤本航大, 東金由莉, 上里忠成, 佐々木 会, 大塚雄一郎, 須田直人, 明海大学病院矯正歯科の顎変形症症例における歯科矯正用アンカースクリューの使用目的, “第 79 回東京矯正歯科学会学術大会,東京 (Web 開催)”, 2020, 7
- 9) 土屋隆子, 湯川未郷, 長谷川尚哉, 佐々木会, 須田直人, 横瀬敏志, 安達一典 歯の移動に関連する痛みに対する 2 種の歯科用レーザー照射の治療効果, 第 142 回日本薬理学会関東部会, 千葉 (web) , 2020, 6
- 10) 湯川未郷, 須田直人, 安達一典 実験的矯正力負荷時の疼痛に対するレーザー照射の効果 -三叉神経節サテライトグリアの GFAP 発現との関連-, 第 62 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島 (web) , 2020, 9
- 11) 土屋隆子, 湯川未郷, 須田直人, 安達一典 実験的矯正力負荷時の疼痛に対するレーザー照射の効果 -生理活性と機序の検討-, 第 62 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島 (web) , 2020, 9
- 12) 湯川未郷 実験的歯の移動に伴う疼痛に対する薬剤歯肉塗布の効果と三叉神経節サテライトグリアの GFAP 発現との関連, 明海歯科医学会第 42 回学術大会, 2020, 10
- 13) 安達一典, 湯川未郷 歯の移動に伴う疼痛への歯周組織 TRPV1 と TRPA1 の協力的作用, “第 94 回日本薬理学会年会, 北海道 (web)”, 2021, 3
- 14) 町谷 亜位子, 須田 直人, 片桐 岳信. 転写共役因子 Smad4 はマウス切歯において上皮細胞の運命を制御する “第 62 回歯科基礎医学会, 鹿児島 (web)”, 2020. 9
- 15) 片桐 渉, 小林 正治, 佐々木 朗, 須佐美 隆史, 須田 直人, 田中 栄二, 近津 大地, 富永 和宏, 森山 啓司, 山城 隆, 齋藤 功, 高橋 哲. 本邦における外科的矯正治療に関する実態調査. “第 30 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 新潟 (Web 開催)”, 2020, 6
- 16) 真野 樹子, 須田 直人. 矯正治療後の片側性唇顎口蓋裂症例の咬合と歯列について 多施設共同研究の結果から “第 44 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 愛知”, 2020, 6
- 17) 時岡 一幸, 真野 樹子, 須田 直人. 鼻咽腔閉鎖機能不全に対するファーラー変法の治療成績, “第 44 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 愛知”, 2020, 6

- 18) 末石 研二, 須田 直人. 口唇裂・口蓋裂の診療ガイドラインについて  
矯正歯科分野における CQ および推奨について, “第 44 回日本口蓋裂学会  
総会・学術集会, 愛知”, 2020, 6

E. その他の研究会、講演など

- 1) 須田直人. 明海大学病院における顎変形症治療. 坂戸鶴ヶ島歯科医師会講演会.  
2020 年 2 月 29 日 (2019 年)
- 2) 須田直人. 犬歯抜歯症例について. 東京医科歯科大学大学院講義. 2021 年 3 月 2 日

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 須田直人, 科学研究費 基盤研究(C), (18K09843) 矯正治療による歯の移動時の  
疼痛に対する抹消と中枢からのアプローチ, 2018 年 4 月～2021 年 3 月, 総額  
4,420 千円
- 2) 佐々木会, 基盤研究(C), 独立行政法人日本学術振興会、矯正痛の発現機構解明と  
制御方法の探索. 2019 年 4 月～2022 年 3 月, 総額 3,770 千円
- 3) 品川令, 科学研究費 若手研究 (19K19301) ヒト臍帯由来間葉系幹細胞を用いた  
早期顎裂閉鎖に向けた基礎研究, 2019 年 4 月～2021 年 3 月, 総額 4,160 千円

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 藤本航大, 宮田研究奨励金 (E), CT を用いた咀嚼筋と顎骨の三次元構築による  
骨格性不正咬合の解析, 2020 年 4 月～2021 年 3 月, 総額 300 千円

G. 受賞

- 1) 第 30 回日本顎変形症学会総会・学術大会 優秀ポスター賞. 藤本 航大 側方  
偏位を伴わない骨格性下顎前突症における下顎骨体長と側方偏位を伴わない骨格性  
下顎前突症における下顎骨体長と咀嚼筋の特徴.

# 口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

歯 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

基 礎 化 学 分 野



## 生化学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Noriyuki SUKA N, Seishi MAGOSHI, Hisao SHIGEMATSU, Yudai OGASAWARA, Shota TAKIZAWA, Katsuyuki INOUE, Yuka OKU, Masakatsu FUKUDA and Hideaki SAKASHITA. A Case of Solitary Neurofibroma of the Maxillary Mucogingival Junction with Compression-induced Bone Resorption. *J Meikai Dent Med* 49 (2), 135-141, 2020.
- 2) Teratani M, Nakamura S, Sakagami H, Fujise M, Hashimoto M, Okudaira N, Bandow K, Iijima Y, Nagai J, Uesawa Y, and Wakabayashi H. Antitumor Effects and Tumor-specificity of Guaiiazulene-3-Carboxylate Derivatives Against Oral Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Res*, 40, 4885-4894, 2020.
- 3) Paulino-Gonzalez AD, Sakagami H, Bandow K, Kanda Y, Nagasawa Y, Hibino Y, Nakajima H, Yokose S, Amano O, Nakaya G, Koga-Ogawa Y, Shiroto A, Nobesawa T, Ueda D, Nakatani S, Kobata K, Iijima Y, Ifuku S, Yamamoto M, and Garcia-Contreras R. Biological Properties of the Aggregated Form of Chitosan Magnetic Nanoparticle. *In Vivo*, 34, 1729-1738, 2020.
- 4) Hideaki SAKASHITA, Hisao SHIGEMATSU, Fuyoko TAIRA, Hide SAKASHITA, Shota TAKIZAWA, Katsuyuki INOUE, Yuka OKU, Yaeko HARA, Masakatsu FUKUDA, Seiji SUZUKI, Kentaro KIKUCHI, Seishi MAGOSHI, Munehisa OKADA, Masaru MIYATA, and Tsubura SUZUKI. Clinical Evaluation on 73 Cases (76 Lesions) of Space-occupying Lesions in the Parotid Gland. *Ped Oral Maxillo Surg.* 30(3), 141-151, 2020.
- 5) Ohnishi T, Kusuyama J, Bandow K, and Matsuguchi T. Glut1 expression is increased by p53 reduction to switch metabolism to glycolysis during osteoblast differentiation. *Biochem J*, 477, 1795-1811, 2020.
- 6) Noriyuki SUKA, Seishi MAGOSHI, Yudai OGASAWARA, Shota TAKIZAWA, Katsuyuki INOUE, Yuka OKU, Masakatsu FUKUDA, Hisao SHIGEMATSU and Hideaki SAKASHITA. Pleomorphic Adenoma in the Upper Lip: A Case Report and Literature Review. *J Meikai Dent Med.* 50 (1), 59-65, 2021.
- 7) Iijima Y, Bandow K, Amano S, Sano M, Hino S, Kaneko T, Horie N, and Sakagami H. Protection of Bortezomib-induced Neurotoxicity by Antioxidants. *Anticancer Res*, 40, 3685-3696, 2020.
- 8) 金田朋久, 重松久夫, 井上勝元, 福田正勝, 奥 結香, 原八重子, 瀧澤将太, 坂下 英, 平良芙蓉子, 西村学子, 宮崎裕司, 星野 都, 菊池建太郎, 坂下英明.

口腔白板症における gH2AX の発現, 明海歯科医学 49 (2), 122-128, 2020.

- 9) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 原 八重子, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 平良芙蓉子, 坂下 英, 小峰雄介, 鈴木正二, 上顎骨顎矯正手術の発展 (II): Le Fort I 型骨切り術の標準術式とその争点. 日小口外誌 30 (1), 1-14, 2020.
- 10) 重松久夫, 本澤秀幸, 浜野洋一, 巻 淳一, 奥 結香, 福田正勝, 原八重子, 井上勝元, 瀧澤将太, 坂下 英, 平良芙蓉子, 岡田宗久, 馬越誠之, 須賀則幸, 林 宏泰, 小笠原悠大, 金田朋久, 塩野隼也, 田川裕也, 鈴木正二, 坂下英明. 大宮歯科医師会と連携して行っている「口腔がん検診」について. 明海歯科医学 49 (2), 41-48, 2020.
- 11) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木正二. 文献からみた明治 5 年から昭和 47 年の間の我が国口腔外科の歴史(VI), 日本歯科医史学会会誌 33 (4), 392-410, 2020.

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

###### (3) 一般演題

- 1) Masakatsu FUKUDA and Hideaki SAKASHITA. Resveratrol inhibits proliferation of oral cancer cells and induces autophagic cell death by blocking SREBP1 expression. 第 79 回日本癌学会総会・学術大会, 2020 年 10 月 1 日-3 日 (広島県広島市)
- 2) 塩野隼也, 福田正勝, 奥山文子, 田川裕也, 小笠原悠大, 金田朋久, 井上勝元, 坂下英明. 口腔扁平上皮癌における c-Met の発現について. 第 65 回 日本口腔外科学会・学術大会, 2020 年 11 月 13 日-15 日 (愛知県名古屋)
- 3) 飯島 洋介, 天野 滋, 坂東 健二郎, 佐野 元彦, 仲山 奈見, 山田 美喜, 日野 峻輔, 金子 貴広, 堀江 憲夫, 坂上 宏. 抗酸化剤のボルテゾミブ誘発性神経障害保護効果. 第 62 回歯科基礎医学会学術大会, 2020 年 9 月 11 日-10 月 9 日 (web 開催)

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 福田正勝 (研究代表者): 脂肪酸合成を標的とした口腔癌の増殖・進展メカニズムの解析 (基盤研究(C), 研究期間 2018 - 2020 年度)
- 2) 坂東 健二郎 (研究代表者): 免疫受容体 TREM2 に着目した炎症性骨破壊のメカニズム解析と治療戦略の検討 (基盤研究(C), 研究期間 2019 - 2021 年度)
- 3) 坂東 健二郎 (研究分担者): 口腔癌に対する腫瘍選択性磁性体を用いたハイパーサーミアによる低侵襲的治療の開発 (基盤研究(B), 研究期間 2020 - 2022 年度)
- 4) 坂東 健二郎 (研究分担者): がん細胞に対するクロモン誘導体の選択毒性機構の解明, (基盤研究(C), 研究期間 2020 - 2022 年度)

## 微生物学

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 牛尾亮介、廣井美紀、嶋田 淳、大森喜弘：メチル化阻害剤による口腔扁平上皮癌細胞の増殖抑制作用，第62回歯科基礎医学会学術大会，鹿児島，2020年9月
- 2) 牛尾亮介 廣井美紀 松本安吏 森一将 嶋田淳 大森喜弘：メチル化阻害剤によるIFN耐性ヒト口腔扁平上皮癌細胞に対する細胞増殖抑制作用，第65回口腔外科学会総会，名古屋，2020年11月

#### 3. 地方会

##### (3) 一般演題

- 1) 松本安吏：インターフェロン誘導性ケモカイン CXCL9, CXCL10, CXCL11 のマウス扁平上皮癌細胞に対する抗腫瘍作用の違い，第219回大学院歯学研究科研究発表会，坂戸，2020年10月
- 2) 牛尾亮介：口腔癌細胞に対するメチル化阻害剤とヒストン脱アセチル化阻害剤による細胞傷害作用，第220回大学院歯学研究科研究発表会，坂戸，2020年11月

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 大森喜弘（研究代表者）：基盤研究C，口腔癌のインターフェロン耐性機構の解明とエピゲノム併用療法の有効性の検討。
- 2) 大森喜弘(研究分担者)：基盤研究C，脂肪酸合成を標的とした口腔癌の増殖・進展メカニズムの解析
- 3) 廣井美紀（研究分担者）：基盤研究C，前癌病変および扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの分化誘導機構と機能解析。

## 歯周病学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) Shin K, Tatsumi J, and Hayashi J, Additional Risk Factors for Peri-implant Diseases, In: Risk Factors for Peri-implant Diseases, Springer Nature, Switzerland, P.115-120, 2020.4
- 2) 申 基喆/編, 辰巳順一, 林 丈一朗, 大塚秀春, 石井麻紀子, 林 鋼兵, 竹谷佳将/著, 歯周病の診断と治療マニュアル 第5版, 美和野印刷, 東京, 2020.10
- 3) 林 丈一朗, やさしい・失敗しない低侵襲ソフトティッシュマネジメント, ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2020.12

#### 2. 訳本

- 1) 申 基喆, 林 丈一朗, 非プラーク性歯肉疾患, 歯周病およびインプラント周囲組織の疾患と状態に関する新分類, クインテッセンス出版, 東京, P.35-50, 2020.10

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 深井智子, 望月 司, 皆川真哉, 中野文夫, 吉川 賢, 河合裕直, 八木裕太, 竹下 玲, 申 基喆, 安井利一, 「川越市における糖尿病に関わる歯科医科連携の試みに関して」第二報 ～糖尿病患者の口腔内に関する主観的評価とオーラルリテラシーに関する実態調査～, 明海歯学 49 (2), 98-104, 2020.11
- 2) 竹谷佳将, 鈴木允文, 齋藤大嵩, 山村加奈子, 内沼真吹, 吉川佳織, 林 丈一朗, 申 基喆, *Porphyromonas gingivalis* LPS で誘導される骨芽細胞の RANKL 発現は transient receptor potential vanilloid 4 ion channel を介するメカニカルストレスによって増幅する, 明海歯学 49 (2), 49-58, 2020.11
- 3) 夏堀壮一郎, 大塚秀春, 長谷川陽子, 竹ノ谷 淳, 上田隼也, 林 鋼兵, 石井麻紀子, 申 基喆, 歯槽堤保存術における創閉鎖の有無が治癒に与える影響, 明海歯学 49 (2), 111-121, 2020.11
- 4) 丸山裕士, 野村圭介, 深井智子, 竹下 玲, 松本 勝, 北 邦宏, 西條光雅, 入江浩一郎, 申 基喆, 安井利一, 中学校期での保健活動を効果的に行うための検討 学校歯科健康診断における診査項目の関連, 明海歯学 49 (2), 105-110, 2020.11
- 5) 深井智子, 望月 司, 皆川真哉, 中野文夫, 吉川 賢, 河合裕直, 八木裕太, 竹下 玲, 申 基喆, 安井利一, 「川越市における糖尿病に関わる歯科医科連携の試みに関して」第三報 ～糖尿病性腎症と平均残存歯数, 歯科疾患実態調査の質問項目を使用した口腔に関する自覚症状の検討～, 明海歯学 50 (1), 21-27, 2021.1

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Yaghseizian A, Sani ES, Monajemzadeh S, Ishii M, Annabi N and Pirih FQ, "Evaluating the Efficacy of an Antimicrobial Bioadhesive Hydrogel for Treatment of Peri- Implantitis, American Academy of Periodontology 106th Annual Meeting, Virtual Conference, 2020.11

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 上田隼也, 繰り返し荷重負荷がインプラント-アバットメント接合部封鎖性に与える影響, 明海歯科医学会第41回学術大会, 坂戸, 2020.7
- 2) 上田隼也, 辰巳順一, 安井絢子, 吉川佳織, 竹谷佳将, 林 丈一郎, 申 基喆, 繰り返し荷重負荷がインプラント-アバットメント接合部封鎖性に与える影響 第2報: 繰り返し荷重負荷前後の細菌侵入量の変化, 第63回春季日本歯周病学会学術大会, Web開催, 2020.7
- 3) 吉川佳織, 抗菌光線力学療法の有用性と安全性に関する in vitro 研究, 明海歯科医学会第41回学術大会, 坂戸, 2020.7
- 4) 脇田有貴, 歯周炎患者における咀嚼能力に関する臨床的研究, 明海歯科医学会第41回学術大会, 坂戸, 2020.7
- 5) 新家央康, 歯周病患者におけるインプラント周囲のプロービングデプスに関する臨床的研究, 明海歯科医学会第42回学術大会, 坂戸, 2020.10
- 6) 中島明敏, 遊離歯肉移植術後の口腔関連 QOL と疼痛の定量的評価, 明海歯科医学会第42回学術大会, 坂戸, 2020.10
- 7) 夏堀壮一郎, 林 丈一郎, 申 基喆, 広範型重度慢性歯周炎患者にコーヌステレスコープ義歯による口腔機能回復治療を行った一症例, 令和2年度埼玉県歯科医学大会, さいたま, 2021.3
- 8) 脇田有貴, 石井麻紀子, 竹谷佳将, 林 鋼兵, 武田宏幸, 渡辺和志, 大塚秀春, 市村 光, 辰巳順一, 申 基喆, 歯周炎患者における客観的咀嚼能力および口腔関連 QOL に関する臨床的研究, 令和2年度埼玉県歯科医学大会, さいたま, 2021.3

## E. その他の研究会、講演など

- 1) 林 丈一郎, 歯科衛生士&歯科医師のための Dental Hygiene Process を活用した自律した歯科衛生士養成コース DAY1, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2020.11
- 2) 林 丈一郎, 歯科衛生士&歯科医師のための Dental Hygiene Process を活用した

自律した歯科衛生士養成コース DAY2, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部,  
浦安, 2021.3

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者:申 基喆, 研究分担者:辰巳順一, 林 丈一郎, 大塚秀春, 鈴木允文,  
林 鋼兵, 歯周病患者に対するインプラント治療におけるインプラント周囲炎の  
リスク因子を探る, 基盤研究 (C) (17K11992), 2017-2020 年度
- 2) 鈴木允文, 咬合性外傷を伴う歯周炎の歯槽骨吸収に対する薬物療法の可能性を  
探る, 若手研究 (19K19006), 2019-2021 年度
- 3) 研究代表者:辰巳順一, 研究分担者:申 基喆, 林 丈一郎, 大塚秀春, 鈴木允文,  
林 鋼兵, 基盤研究 (C) (19K10230), 2019-2023 年度
- 4) 竹谷佳将, Piezol に着目した外傷性咬合を伴う歯周炎の歯槽骨吸収メカニズムの  
解明, 研究活動スタート支援 (20K23091), 2020-2021 年度

### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 石井麻紀子, CXCR3 アンタゴニスト局所投与が歯周炎に与える影響に関する研究,  
宮田研究奨励金 A
- 2) 上田隼也, 繰り返し荷重負荷がインプラント-アバットメント接合部封鎖性に与える  
影響, 宮田研究奨励金 E

## 基礎生物学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Ide F, Ito Y, Muramatsu T, Miyazaki Y, Nishimura M, Kikuchi K, Kusama K. The Advent of Studies on Jaw Cysts with Keratinization: A Review of Overlooked Papers on Odontogenic Keratocyst and Orthokeratinized Odontogenic Cyst. Head and Neck Pathology 14:785-791, 2020
- 2) Ide F, Ito Y, Miyazaki Y, Nishimura M, Kusama K, Kikuchi K. A New Look at the History of Peripheral Ameloblastoma. Head and Neck Pathology 14:1052-1057, 2020
- 3) 金田朋久, 重松久夫, 井上勝元, 福田正勝, 奥 結香, 原八重子, 瀧澤将太, 坂下英, 平良芙美子, 西村学子, 宮崎裕司, 星野 都, 菊池建太郎, 坂下英明. 口腔白板症における $\gamma$ H2AXの発現. 明海歯科医学 49:122-128, 2020
- 4) Miyazaki Y, Okuyama A, Hoshino M, Nishimura M, Kikuchi K. Influence of acetaldehyde on oral epithelial cells. Journal of Oral Cancer and Research 4:44-48, 2021

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 2020年度 宮田研究奨励金 (A): 口腔癌発症へのセマフォリンの関与について

# 基礎化学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 中田和明, 宮崎裕司, 稲葉明美, 藤本健吾: 科学実験演習. リュウワ印刷, 川越, 2020年



# 機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野(有床義歯)

歯科補綴学分野(クラウン・ブリッジ)

保存治療学分野

オーラル・リハビリテーション学分野

摂食嚥下リハビリテーション学分野

基礎物理学分野

## 歯科生体材料学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Paulino-Gonzalez AD, Sakagami H, Bandow K, Kanda Y, Nagasawa Y, Hibino Y, Nakajima H, Yokose S, Amano O, Nakaya G, Koga-Ogawa Y, Shiroto A, Nobesawa T, Ueda D, Nakatani S, Kobata K, Iijima Y, Ifuku S, Yamamoto M and Garcia-Contreras R. Biological properties of the aggregated form of chitosan magnetic nanoparticle, *in vivo* 34, 1729-1738, 2020.
- 2) Nagasawa Y, Hibino Y, Shigeta H, Eda Y, Matsumoto S and Nakajima H. Characteristics of a new dental stone mixed by shaking. *Dent Mater J* 39(3), 355-366, 2020.
- 3) 江田義和, 長沢悠子, 重田浩貴, 日比野 靖, 中畷 裕: セルフアドヒーブ レジンセメントのせん断強さおよびせん断弾性係数 - 試料保管条件と光照射が及ぼす影響 -, *日歯理工誌* 39(2), 181-191, 2020.
- 4) Hibino Y, Nagasawa Y, Eda Y, Shigeta H and Nakajima H. Effect of storage conditions on mechanical properties of resin composite blanks for CAD/CAM crowns. *Dent Mater J* 39(5), 742-751, 2020.
- 5) 江田義和, 長沢悠子, 重田浩貴, 岡本和彦, 日比野 靖, 中畷 裕: 接着・合着用セメントの打ち抜きせん断試験用試料厚さがせん断強さに及ぼす影響, *日歯理工誌* 39(3), 254-268, 2020.
- 6) Hibino Y, Oyane A, Shitomi K and Miyaji H. Technique for simple apatite coating on a dental resin composite with light-curing through a micro-rough apatite layer. *Mater Sci Eng C* 116, 111146, 2020.
- 7) Nagasawa Y, Hibino Y, Eda Y and Nakajima H. Effect of surface treatment of CAD/CAM resin composites on the shear bond strength of self-adhesive resin cement. *Dent Mater J* 40(2), 364-378, 2021.
- 8) Nagasawa Y, Eda Y, Matsumoto S, Shigeta H, Matsumoto K, Shimano I, Wada K, Matsukawa I, Nakajima H and Hibino Y. Variation in amounts of stone powder and water measured by dental students and its effect on the properties of dental stone mixed by shaking. *J Meikai Dent Med* 50(1), 28-41, 2021.

#### 2. 総説

- 1) 中畷 裕, 長沢悠子, 重田浩貴, 江田義和, 日比野 靖: グラスアイオノマーセメントとナノテクノロジー - ナノ粒子添加グラスアイオノマーセメントの性質 -, *日歯理工誌* 39(3), 249-253, 2020.

C. その他の刊行物など

- 1) 日比野 靖, 麻生幸男, 佐久間 愛, 柿本 薫: 超高齢社会で期待できる「ハイドロソニックプロ」のブラッシング効果. Dental Diamond 46(3), 164-169, 2021.

D. 学会発表

2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 重田浩貴, 松本篤樹, 江田義和, 長沢悠子, 鈴木玲爾, 和田賢一, 日比野 靖, 中畠 裕: 練和方法の違いが硬質石膏の物性に及ぼす影響. 第75回日本歯科理工学会学術講演会(誌上開催), 2020.
- 2) 江田義和, 長沢悠子, 日比野 靖, 重田浩貴, 松本篤樹, 島野偉礎轄, 中畠 裕: 衝撃荷重による歯科用セメントのひずみ挙動. 第75回日本歯科理工学会学術講演会(誌上開催), 2020.
- 3) 大矢根綾子, 日比野 靖, 部 佳奈子, 宮治裕史: 光重合を利用した歯科用レジンへの簡易アパタイト成膜と細胞親和性. 日本セラミックス協会 2021 年年会(web開催), 2021.

E. その他の研究会、講演など

- 1) 日比野 靖: 臨床に役に立つ歯科材料の豆知識～CAD/CAM冠用コンポジットレジンブロックの特性～. 令和2年度明海大学歯学部同窓会東北ブロック大会学術講演会, 秋田, 2020年9月.(web講演)
- 2) 江田義和: セルフアドヒーシブレジンセメントのせん断特性に及ぼす要因. 第220回明海大学大学院歯学研究科研究発表会, 坂戸, 2020年7月.
- 3) 松本篤樹: セルフアドヒーシブレジンセメントの接着強さに関する研究. 第32回明海大学大学院歯学研究科中間研究発表会, 坂戸, 2020年12月.

## 歯科補綴学(有床義歯)

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Okamoto K, Yung-Tsung Hsu, Tohnai I: Effect of Difference in Dental Implant Transfer Impression Copings on Impression Accuracy, J. Meikai Dent. Med, 49 (2), 59-65, 2020.10
- 2) 曾根峰世, 松本大慶, 小山夏実, 鳴海史子, 松川高明, 内田茂則, 染川正多, 高橋快, 鈴木美都, 三吉佑香, 坂本大輔, 岡本和彦, 大川周治: 支台歯の負担能力を考慮して磁性アタッチメントを用いた症例, 日本磁気歯科学会雑誌, 29(1), 38-42, 2020.12
- 3) 江田義和, 長沢悠子, 重田浩貴, 岡本和彦, 日比野 靖, 中畠 裕: 接着・合着用セメントの打ち抜きせん断試験用試料厚さがせん断強さに及ぼす影響, 日本歯科理工学会誌, 39 (3), 254-268, 2020.9
- 4) 大川周治, 小山夏実, 松本大慶: 陸上競技選手の咀嚼筋機能について 瞬発系種目と持久系種目との比較, 日本全身咬合学会雑誌, 26(1), 1-3, 2020.6

#### 3. 症例報告

- 1) 鳴海史子, 松本大慶, 小山夏実, 岡本和彦, 大川周治: 歯科恐怖症患者に全身麻酔法と系統的脱感作療法を併用して有床義歯補綴を行った症例, 日本全身咬合学会雑誌, 26(1), 17, 2020.6

### C. その他の刊行物など

- 1) Narumi F, Matsumoto R, Matsumoto D, Koyama N, Numazawa M, Sone M, Okamoto K, Ohkawa S: Occlusion retainer treatment with severe mandibular residual ridge resorption after removal of dental implants A case report, 7th Biennial Joint Congress of JPS-CPS-KAP, Online, 2021.2
- 2) Sone M, Matsumoto D, Koyama N, Narumi F, Matsukawa T, Uchida S, Somekawa S, Takahashi K, Suzuki M, Miyoshi Y, Sakamoto D, Okamoto K, Ohkawa S: A case report of a removable denture using magnetic attachments for a missing mandibular molar with a decreased occlusal vertical dimension followed up for 9 years, The 20th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry, Online, 2021.2

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

(3) 一般演題

- 1) 小山夏実, 曾根峰世, 松本大慶, 沼澤美詠, 鳴海史子, 松川高明, 眞木信太郎, 染川正多, 高橋 快, 福澤将豪, 鈴木美都, 三吉佑香, 坂本大輔, 岡本和彦, 大川周治: インプラント周囲軟組織の審美性評価に対する臨床経験の影響, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 129 回学術大会, 福岡, 2020.6
- 2) 鳴海史子, 松本玲央, 松本大慶, 小山夏実, 高橋 快, 福澤 将豪, 三吉佑香, 鈴木美都, 鈴木未来, 岩田直樹, 黒米 裕, 内田茂則, 染川正多, 松川高明, 沼澤美詠, 曾根峰世, 岡本和彦, 大川周治: インプラント除去後の下顎顎堤過吸収に対して樹脂製リテーナー義歯を装着した一症例, 令和 2 年度公益社団法人日本補綴歯科学会東関東支部総会・第 24 回学術大会, 千葉市, 2021.2
- 3) 岡本和彦: 超高齢社会における有床義歯治療のアプローチ -治療用義歯から学べることは?- , 公益社団法人日本補綴歯科学会第 129 回学術大会, 福岡, 2020.6
- 4) 松本大慶, 染川正多, 小山夏実, 松川高明, 内田茂則, 高橋 快, 鈴木美都, 三吉佑香, 坂本大輔, 戸邊武一, 鳴海史子, 沼澤美詠, 曾根峰世, 岡本和彦, 大川周治: 有床義歯装着者の味覚機能に関する調査 -味覚機能スクリーニング検査法の応用-, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 129 回学術大会, 福岡, 2020.6
- 5) 曾根峰世, 松本大慶, 小山夏実, 鳴海史子, 松川高明, 内田茂則, 染川正多, 高橋 快, 鈴木美都, 三吉佑香, 坂本大輔, 岡本和彦, 大川周治: 上下顎支台装置に磁性アタッチメントを応用した 9 年経過症例, 第 30 回日本磁気歯科学会学術大会, WEB 開催, 2020.11

E. その他の研究会、講演など

- 1) 岡本和彦, 治療用義歯から学べることは? : 令和 2 年度明海大学歯学部同窓会学術講演会, 浦安 (Web), 2020.9

## 歯科補綴学(クラウン・ブリッジ)

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 藤澤政紀. 前処置. IN クラウンブリッジ補綴学. 第6版, 医歯薬出版株式会社 (東京) pp107-113, 2021, 2
- 2) 藤澤政紀. 前歯部 CAD/CAM 冠保険収載の意義と算定の条件 IN 保険診療のできるメタルフリー修復治療 —全歯種対応・CAD/CAM 冠のすべて—. 第1版, クインテッセンス出版株式会社 (東京) pp8-13, 2021.3
- 3) 藤澤政紀. 冠橋義歯補綴学概説. IN 冠橋義歯補綴学テキスト. 第4版, 永末書店 (京都) pp1-8, 2021, 3
- 4) 藤澤政紀. 口腔内情報の記録. IN 冠橋義歯補綴学テキスト. 第4版, 永末書店 (京都) pp163-168, 2021, 3

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Konatsu Saito-Murakami, Masayuki Sato, Hidetoshi Otsuka, Hiroki Miura, Nobuyuki Terada and Masanori Fujisawa. Daytime masticatory muscle electromyography biofeedback regulates the phasic component of sleep bruxism., J Oral Rehabil. 47 : 827-833, 2020, 5
- 2) Kenji Maekawa, Tomoko Ikeuchi, Shoji Shinkai, Hirohiko Hirano, Masahiro Ryu, Katsushi Tamaki, Hirofumi Yatani, Takuo Kuboki, Kusatsu ISLE Study Working Group Collaborators, Aya Kimura-Ono, Takeshi Kikutani, Takashi Suganuma, Yasunori Ayukawa, Tomoya Gonda, Toru Ogawa, Masanori Fujisawa, Shoichi Ishigaki, Yutaka Watanabe, Akihiko Kitamura, Yu Taniguchi, Yoshinori Fujiwara, Ayako Eda-hiro, Yuki Ohara, Junichi Furuya, Junko Nakajima, Kento Umeki, Kentaro Igarashi, Yasuhiro Horibe, Yoshihiro Kugimiya, Yasuhiko Kawai, Hideo Matsumura, Tetsuo Ichikawa and Shuji Ohkawa. Number of functional teeth more strongly predicts all-cause mortality than number of present teeth in Japanese older adults. Geriatrics Gerontology International. 20 (6): 607-614. 2020. 6
- 3) 三浦寛貴, 島崎友博, 安岡裕輔, 馬場裕之, 本宮光信, 古谷友希. 後期高齢者の運動器疾患受傷前の移動手段が日常生活に及ぼす影響—運動器リハビリテーション患者の検討—. 理学療法—臨床・研究・教育. 27 (1) : 51-55, 2020, 7
- 4) 三浦寛貴, 遠藤佳章, 鈴木暁, 安岡裕輔, 堀本ゆかり. 臨床実習指導者の理学療法業務時の意識と実習指導時の意識の関係. 理学療法—臨床・研究・教育. 27 (1) :

56-61, 2020, 7

- 5) 浅見和哉, 村上小夏, 佐藤雅介, 三浦賞子, 勅使河原大輔, 藤田崇史, 前田拓郎, 塚田翔平, 磯貝知範, 三浦寛貴, 井口将, 藤澤政紀. ブラキシズムと口唇閉鎖力, 舌圧, 頬圧の関係. 明海歯学. 49 (2): 129-134, 2020, 9

## 2. 総説

- 1) Futoshi Komine, Junichi Honda, Kosuke Kusaba, Kei Kubochi, Hiroki Takata, Masanori Fujisawa. Clinical outcomes of single crown restorations fabricated with resin-based CAD/CAM materials. J Oral Science. 62 (4) : 353-355, 2020, 5
- 2) Toru Ogawa, Ratri M Sitalaksmi, Makiko Miyashita, Kenji Maekawa, Masahiro Ryu, Aya Kimura-Ono, Takeshi Suganuma, Takeshi Kikutani, Masanori Fujisawa, Katsushi Tamaki, Takuo Kuboki. Effectiveness of the Socket Shield Technique in Dental Implant: A Systematic Review. J Prosthodontic Res, 65 : 1883-1958, 2020, 10
- 3) Shoko Miura, Masanori Fujisawa. Current status and perspective of CAD/CAM-produced resin composite crowns: a review of clinical effectiveness. Japanese Dental Science Review, 56(1): 184-189, 2020, 11

## 3. 症例報告

- 1) 三浦賞子. 歯科金属アレルギー患者に対しモノリシックジルコニア修復で補綴歯科治療を行った症例, 日補綴会誌. 12 (2) : 168-171, 2020, 4
- 2) 浅野悠, 去川俊二, 榎木祐一郎, 勅使河原大輔, 菅澤正, 中塚貴志. 植皮による顎堤形成と術中即時義歯により咀嚼機能回復が得られた側方下顎区域再建の1例, 形成外科. 64:467-473, 2021, 4

## C. その他の刊行物など

- 1) 三浦賞子. メタルフリーパーシャルベニアクラウンの臨床エビデンス. 歯界展望. 135 (5) : 912-924 , 2020, 5
- 2) 三浦賞子. セメントの選択基準と審美性への配慮. 歯界展望. 136 (3) : 529-538 , 2020, 9
- 3) 藤田崇史, 三浦賞子, 藤澤政紀, 右近晋一, 新田 悟, 小野光良, 吉沢亮平. 接着ブリッジを臨床でより活用するために:最近のトレンドと支台歯形成の Tips. QDT, 45: 1284-1304, 2020, 10
- 4) 藤澤政紀. Guest Editorial-変化する補綴・修復治療へのニーズを捉える-. QDT, 45: 1517, 2020, 11

- 5) 小峰太, 藤澤政紀, 奈良陽一郎. 保険収載された前歯部 CAD/CAM 冠について. 歯界展望. 136 (5): 937-940, 2020, 11
- 6) 三浦賞子, 藤澤政紀. 研究室紹介. 接着歯学. 38 (4):153. 2020.12
- 7) 勅使河原大輔, 去川俊二. 義歯を用いた術後口腔リハビリテーション. PEPARS. 168: 47-56, 2020. 12
- 8) 末瀬一彦, 大川周治, 宮崎隆, 植田耕一郎, 藤澤政紀, 水口俊介, 黒岩昭弘, 早川徹. 2021年! 学会は動いている!! - トップに聞く 各学会の取り組みと今後の展望 - . 歯科技工. 49 (1) : 23-38, 2021, 1

## D. 学会発表

### 1. 全国学会

#### (1) 一般演題

- 1) 三浦賞子, 塚田翔平, 勅使河原大輔, 村上小夏, 藤田崇史, 前田拓郎, 磯貝知範, 浅見和哉, 藤澤政紀. 明海大学歯学部5年生における口腔内スキャナーを応用した支台歯形成技能の教育効果. 日本補綴歯科会第129回学術大会(福岡市(誌上&Web開催))2020, 6. 27-28
- 2) 保坂啓一, 前野雅彦, 新谷明一, 小峰太, 佐藤洋平, 峯篤史, 大槻昌幸, 大久保力廣, 磯貝知範, 三浦賞子, 藤澤政紀. 審美令和プロ「AI活用によるオンライン口腔健康管理システムの構築」- 調査方法について - . 第31回日本歯科審美学会第39回日本接着歯学会合同学術大会(奈良(誌上開催))2020, 10. 3-4
- 3) 三浦寛貴, 佐藤大輔, 戸田伸. 退院後訪問からみた当院の退院支援における課題: 質的研究. 第116回理学療法科学学会(千葉(Webとのハイブリッド開催))2021, 3

### 2. 地方会

#### (1) 一般演題

- 1) 浅見和哉. 小型タブレット端末と筋電計による覚醒時ブラキシズムの診断基準の検討. 明海歯科医学会第41回学術大会 第30回大学院歯学研究科中間研究発表会(坂戸)2020, 7. 2
- 2) 三浦賞子, 新谷明一, 藤澤政紀. 急速シンタリングプログラムにより製作したジルコニアクラウンの色調評価. 日本歯科理工学会中部地方会・関東地方会合同学術講演会(東京(口演発表))2020, 10. 31
- 3) 藤田崇史, 塚田翔平, 三浦賞子, 勅使河原大輔, 村上小夏, 前田拓郎, 浅見和哉, 藤澤政紀. 複雑な色調再現に歯科分光光度計を用いて前歯部ブリッジを装着した症例. 日本補綴歯科学会第24回東関東支部学術大会(千葉(Web開催))2021, 2. 7
- 4) 勅使河原大輔. 上顎部分切除後に人工歯を排列した即時顎補綴装置を装着した



- 1例. 日本補綴歯科学会 第24回東関東支部学術大会 (千葉) 2021, 2 .7
- 5) 大塚英稔. 部分床義歯の設計変更により大連結子に対する違和感を改善した一症例.  
日本補綴歯科学会 第 24 回東関東支部学術大会 (千葉) 2021, 2 .7
- 6) 井口将, 藤田崇史, 三浦賞子, 勅使河原大輔, 村上小夏, 前田拓郎, 浅見和哉,  
塚田翔平, 岩田昌久, 吉沢亮平, 藤澤政紀. 前歯部 CAD/CAM 冠用ブロックの色調  
評価. 令和 2 年度埼玉県歯科医学大会 (埼玉(Web 開催)) 2021, 3

E. その他の研究会、講演など

- 1) 藤澤政紀. これからの社会にこたえる審美歯科治療. 青陵会 学術講演会, (三沢)  
20210.10.30

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 佐藤雅介. 覚醒時ブラキシズムの診断基準を確立する, 2019-2021 年度科学研究費  
助成事業 若手研究 (19K19102).
- 2) 斉藤小夏. 日中の筋電図バイオフィードバック訓練による夜間グラインディング  
及び中枢への影響, 2019-2020 年度 科学研究費助成事業 若手研究 (19K19101).
- 3) 勅使河原大輔. デジタルデータを利用した即時下顎再建法に関する研究,  
2020-2024 年度科学研究費助成事業 若手研究 (20K186104).

2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 藤澤政紀 (研究代表者), 三浦賞子, 磯貝知範, 新谷明一, 前野雅彦, 小峰 太,  
保坂啓一, 峯 篤史, 佐藤洋平, 大久保力廣, 大槻昌幸. AI 活用によるオンライン  
口腔健康管理システムの構築に関する研究. 日本歯科医学会プロジェクト研究費  
令和元年度採択研究事業(2019年4月-2021年3月)

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 三浦賞子. 積層造形法ジルコニア補綴装置の臨床展開. 2020 年度宮田研究奨励金  
(A)
- 2) 勅使河原大輔. 個別化による新しい支台歯有限要素解析法, 2019-2020 年度 2020  
年度宮田研究奨励金 (A)
- 3) 浅見和哉. 覚醒時ブラキシズムの診断基準を確立する, 2020 年度 宮田研究奨励  
金 (E)

# 保存治療学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Yokose S, Kato Y, Matsumoto K, Klokkevold PR, Takei HH, Kawazu H, Sakagami H: Enamel Matrix Derivative in Diffusion Chamber Implanted Subcutaneously in Rat Induces Formation of Fibrous Connective Tissue Containing Abundant Blood Vessels. *In Vivo*;35(1)313-317, 2021
- 2) Kadokura H, Yamazaki T, Kato Y, Matsumoto K, Hasegawa A, Sakagami H and Yokose S: Establishment of Culture System of Cementblast-like Cells Isolated from Rat Periodontal Ligament. *J Meikai Dent Med*;50(1), 1-6, 2021
- 3) Kato Y, Yokose S: Oxytocin Facilitates Dentinogenesis of Rat Dental Pulp Cells. *Journal of Endodontics*;47(4), 592-599, 2021
- 4) Ohsugi Y, Katagiri S, Hirota T, Niimi H, Hatasa M, Watanabe K, Shimohira T, Mizutani K, Kitazawa M, Matsuzawa A, Kadokura H, Yokose S, Iwata T, Aoki A: Laser irradiation decreases sclerostin expression in bone and osteogenic cells. *FASEB J.* 2020 Sep;34(9): 12877-12893
- 5) Masuda Y, Sakagami H, Yokose S, Udagawa N: Effect of Small-molecule GSK3 Antagonist on Differentiation of Rat Dental Pulp Cells into Odontoblasts. *In Vivo.* 2020 May Jun;34(3):1071-1075.
- 6) 山崎涼子, 古川敏子, 松本勝利, 横瀬敏志: 象牙質表面性状に及ぼす Er:YAG laser 照射の影響について. *日本レーザー歯学会誌*, 30(2), 43-48, 2020年8月

### 2. 総説

- 1) 横瀬敏志, 加藤邑佳, 長谷川彰彦, 増田宜子: 歯内療法におけるレーザー応用の可能性について. *日歯内療誌*;41(2), 77-81, 2020年

## C. その他の刊行物など

- 1) 横瀬 敏志: 人生 100 歳時代を迎え、次世代の保存治療学を求めろ. 特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会 153 回 プログラムおよび講演抄録集 P2, 東京, 2020 11 月.

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 小林典加, 門倉弘志, 土屋隆子, 横瀬敏志: セメント芽細胞様細胞に分化する

- ラット歯根膜由来初代培養系の確立. 第 153 回日本歯科保存学会学術大会 P64, 誌上開催, 2020 年 11 月
- 2) 和田恵, 河野宗光, 横瀬敏志: 三次元的骨欠損形態評価システムの構築に基づく抜歯窩の治癒形態の解析. 第 153 回日本歯科保存学会学術大会 P65, 誌上開催, 2020 年 11 月
  - 3) 磯英介, 山崎崇秀, 横瀬敏志: 半導体レーザー照射はラット骨髄細胞由来骨原生細胞の分化・増殖に影響する. 第 32 回日本レーザー歯学会学術大会 P53, 72~73, 誌上開催, 2020 年 11 月
  - 4) 古川敏子, 山崎涼子, 山出果歩, 横瀬敏志: 歯科衛生士からみた光線力学療法における細菌抑制効果に対する基礎的研究. 日本歯科衛生学会 第 15 回学術大会 P118, 誌上開催, 2020 年 9 月
  - 5) 山崎涼子, 古川敏子, 山出果歩, 横瀬敏志: ツボ刺激を応用した唾液分泌の変化について. 日本歯科衛生学会 第 15 回学術大会 P125, 誌上開催, 2020 年 9 月
  - 6) 山出果歩, 古川敏子, 山崎涼子, 市村葉, 横瀬敏志: 顎関節症患者に対して経皮的末梢神経電気刺激装置をもちいてツボ刺激を行なった症例. 日本歯科衛生学会 第 15 回学術大会 P124, 誌上開催, 2020 年 9 月
  - 7) 新見ひろみ, 大杉勇人, 片桐さやか, 畑佐将宏, 下平剛, 門倉弘志, 横瀬敏志, 岩田隆紀, 青木章: Er:YAG レーザーによるラット頭蓋骨由来初代培養骨芽細胞様細胞の増殖と石灰化に対する効果. 日本レーザー歯学会 (0917-7450) 30 巻 3 号 P102, 仙台, 2020 年 12 月
  - 8) 大杉勇人, 片桐さやか, 廣田朝光, 新見ひろみ, 畑佐将宏, 渡辺数基, 下平剛, 水谷幸嗣, 門倉弘志, 横瀬敏志, 岩田隆紀, 青木章: Er:YAG レーザー照射は骨組織と骨細胞様細胞において sclerostin の発現を減少する. 日本歯周病学会 (0385-0110) 62 巻秋季特別 P122, 誌上開催, 2020 年 10 月
  - 9) 加藤邑佳, 門倉弘志, 山崎崇秀, 市村葉, 横瀬敏志: Oxytocin Receptor KO 歯髄培養細胞による dentinogenesis へ及ぼす影響について. 特定非営利活動法人日本歯科保存学会学術大会 152 回 P116, 誌上開催, 2020 年 6 月
  - 10) 加藤邑佳: Oxytocin はラット歯髄組織の dentinogenesis を促進する. 明海歯科医学 (1881-4298) 49 巻 2 号 P15-16, 坂戸, 2020 年 11 月
  - 11) 新見ひろみ, 大杉勇人, 片桐さやか, 渡辺数基, 畑佐将宏, 下平剛, 土谷洋輔, 前川祥吾, 廣田朝光, 門倉弘志, 横瀬敏志, 岩田隆紀, 青木章. ラット頭蓋骨由来初代培養骨芽細胞様細胞の増殖と石灰化に対する Er:YAG レーザーの効果. 日本歯周病学会 (0385-0110) 62 巻秋季特別 P122, 誌上開催, 2020 年 10 月

## オーラル・リハビリテーション学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Shigeru Watanabe, Yukiko Yamamura, Aiko Hoshiai, Shiho Morishita, Aiko Machiya, Satoru Matsuda, Takahiro Shimojima, Iwai Tohnai: Salivary volume in the mouth immediately before and after swallowing in children. Dent Oral Maxillofac Res, 2021, 1
- 2) Aiko Machiya, Sho Tsukamoto, Satoshi Ohte, Mai Kuratani, Naoto Suda and Takenobu Katagiri: Smad4-dependent transforming growth factor- $\beta$  family signaling regulates the differentiation of dental epithelial cells in adult mouse incisors. Bone, 2020, 8
- 3) Ozawa M, Matsuda S, Saito T, Shimada J: The effect of surface topography of dental implants on the height of the inter-implant bone crest. 日本口腔インプラント学会誌, 33, 4, 360-364, 2020, 12

#### 3. 症例報告

- 1) 飯倉拓也, 堀内康志, 草間淳, 飯塚奈々, 小澤万純, 河方知裕, 近藤千尋, 松田哲, 嶋田淳: 口底に迷入した下顎智歯歯根を舌側アプローチにより摘出した1例. 日本口腔診断学会雑誌, 33, 2, 178-182, 2020, 6
- 2) 松田哲: 上顎前歯部複数歯欠損ブリッジの再治療にインプラントを用いた1症例. 日本口腔インプラント学会誌, 33, 2, E185-E186, 2020, 6

### C. その他の刊行物など

- 1) 町谷亜位子, 小口寛子, 石田結, 元村洋一, 吉川正芳, 下島孝裕: "食と健康を守る" オーラルフレイル予防への早期介入新戦略. アグリバイオ, 4, 14, 1329-1332, 2020, 12
- 2) 松田哲: PDI 便り. 明海大学歯学部東京都同窓会会報, Vol. 51, 25-30, 2021, 3

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) Aiko Machiya, Akiko Takano, Masayoshi Yoshikawa, Takahiro Shimojima, INVESTIGATION OF A NOVEL MECHANISM FOR BIOLOGICAL APATITE CRYSTAL FORMATION. The 9th International Orthodontic Congress, 横浜, 日本, 2020, 10
- 2) Aiko Machiya, Sho Tsukamoto, Satoshi Ohte, Mai Kuratani, Naoto Suda and

Takenobu Katagiri, Smad4-dependent transforming growth factor- $\beta$  family signaling regulates the differentiation of dental epithelial cells in adult mouse incisors. ASBMR 2020 Annual Meeting, シアトル, アメリカ, 2020, 9

## 2. 全国学会

### (3) 一般演題

- 1) 飯倉拓也, 松田哲, 近藤千尋, 草間淳: インプラント手術と天然歯の歯周再生療法を同時に行った一症例. 第 63 回秋季日本歯周病学会学術大会, オンライン, 2020, 10
- 2) 小澤万純, 松田哲, 齋藤大嵩, 長谷川陽子, 嶋田淳: インプラント補綴が口腔環境に及ぼす影響. 第 50 回公益社団法人日本口腔インプラント学会記念学術大会, オンライン, 2020, 9
- 3) 飯塚奈々, 松田哲: オーラル・リハビリテーションにより咬合の安定が得られた一症例. 令和 2 年度埼玉県歯科医学大会, オンライン, 2021, 3
- 4) 飯倉拓也, 松田哲: 欠損を有する広汎性重度慢性歯周炎患者に対しインプラントを含めた包括的治療を行った一症例. 令和 2 年度埼玉県歯科医学大会, オンライン, 2021, 3
- 5) 長谷川陽子, 松田哲, 嶋田淳, 草間淳, 小澤万純, 齋藤大嵩: 上顎洞底挙上術に水圧挙上を用いたインプラント治療の 1 症例. 第 50 回公益社団法人日本口腔インプラント学会記念学術大会, オンライン, 2020, 9
- 6) 町谷亜位子, 小口寛子, 龍田恒康, 渡部 茂: 深部埋伏歯牽引を目的とした新規アタッチメント装着システムの開発と評価. 第 58 回日本小児歯科学会大会, 2020, 5
- 7) 堀内康志, 松田哲: 垂直性骨欠損に対して自家骨移植と  $\beta$ -FGF を用いた歯周再生療法を行った一症例. 令和 2 年度埼玉県歯科医学大会, オンライン, 2021, 3
- 8) 町谷亜位子, 須田直人, 片桐岳信: 転写共役因子 Smad4 はマウス切歯において上皮細胞の運命を制御する. 第 62 回歯科基礎医学会学術大会, 2020, 9
- 9) 齋藤大嵩, 松田哲, 小澤万純, 草間淳, 長谷川陽子, 嶋田淳: 両側中切歯欠損におけるインプラント治療の垂直的骨増生にヒーリングアバットメントを用いた一症例. 第 50 回公益社団法人日本口腔インプラント学会記念学術大会, オンライン, 2020, 9

## E. その他の研究会、講演など

- 1) 松田哲: 切開・剥離・縫合の基本から応用-歯周外科・インプラントに役に立つスーチャリング-. World MediaMed seminar Series, オンライン, 2021, 2
- 2) 高橋貴司, 溝部健一: 治療への関心が低い患者に対し, 段階的なアプローチによりアドヒアランスとセルフケアを獲得した一症例. 第 41 回 PDI 研修医症例報告会&特別講演, 2021, 3

# 摂食嚥下リハビリテーション学

2019年度(追補)

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

Ooka, T.; Kusano, M.; Shindo, A.; Mano, M.: A COOPERATIVE APPROACH ON FEEDING AND SWALLOWING INSTRUCTION FOR CLEFT-LIP AND PALATE IN A DENTAL HOSPITAL IN JAPAN, 9th ESSD Congress, Vienna 2019.

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 大岡貴史：極超低出生体重児の栄養摂取状況の推移、第57回日本小児歯科学会学術大会、札幌、2019
- 2) 大岡貴史：特別支援学校における摂食指導の内容と課題、第66回日本小児保健学会、東京、2019
- 3) 高野梨沙、大岡貴史、他：障害者施設入所者における摂食の問題点についての実態調査、名古屋、2019
- 4) 大岡貴史、野嶋琢也、安藤貴広：非接触舌・口腔運動認識システムを用いた口腔機能向上プログラムの作製と効果、第30回日本老年歯科医学会学術大会、仙台、2019
- 5) 大岡貴史、草野緑、進藤彩花：小児在宅医療における摂食嚥下機能の問題点と対応、第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会、新潟、2019

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演(教育講演)

- 1) 小児の摂食嚥下リハビリテーション、第30回日本老年歯科医学会学術大会指定研修、仙台、2019
- 2) 大岡貴史：健康寿命を延ばす口腔の支援、第20回日本認知症ケア学会大会招待講演、京都、2019

2020年度

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Ooka T: Dentistry and nutrition during the COVID-19 pandemic. New Food Industry, 62, 710-711, 2020

- 2) Tiziana Doldo, Takafumi Ooka, Hiroaki Takanashi, Naho Yamamoto, Hiroshi Sakagami: School cafeteria in the world (5). New Food Industry, 62, 710-711, 2020

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

###### (3) 一般演題

- 1) 大岡貴史, 高野梨沙: 新生児科外来における摂食指導患児の統計的検討. 第 67 回日本小児保健協会学術集会, 2020.
- 2) 大岡貴史: 小児在宅歯科診療において地域連携を元に摂食嚥下リハビリテーションを行った例. 第 3 回小児在宅歯科医療研究会, 2020.
- 3) 進藤彩花, 草野緑, 高野梨沙, 矢尾喜三郎, 上田智也, 大岡貴史: 歯科的介入のない老人ホーム入所者の口腔内状況に関する実態調査: 日本老年歯科医学会第 31 回学術大会, WEB 開催, ポスター発表, 2020

##### 3. 地方会

###### (2) シンポジウム

- 1) 大岡貴史: 安全な摂食嚥下機能評価を行うために. 第 19 回日本口腔ケア学会, 2018.
- 2) 大岡貴史: 摂食嚥下若手企画シンポジウム. 日本老年歯科医学会第 31 回学術大会, 2020.

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 大岡貴史: 多職種連携における低栄養・摂食嚥下障害への対応力向上講座. 富良野歯科医師会, 2020.
- 2) 大岡貴史: 口腔機能の発達に応じた食事の環境整備. 新宿区保健所, 2020.
- 3) 大岡貴史: 地域における摂食嚥下障害の評価と多職種による支援. 坂戸保健所, 2020.
- 4) 大岡貴史: 社会に求められる訪問看護サービスと訪問看護の対象. 埼玉県訪問看護ステーション協会, 2020.
- 5) 大岡貴史: 令和 2 年小児在宅歯科医療推進研究会. 埼玉県歯科医師会, 2020.
- 6) 大岡貴史 出浦恵子 進藤彩花 上田智也 草野緑 岡澤仁志 田中入: 地域歯科診療所と歯科大学院が共同で長期介入を行った在宅小児への口腔機能管理の 1 例: 令和 2 年度埼玉県歯科医学大会, 一般公演, 2020

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者 大岡貴史: 科研費基盤 C (課題番号 18K09707) 「非接触・非装着型インターフェースを用いた新たな顎口腔機能検査法の基礎的研究」

## 基礎物理学

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) “Kobayashi, T., Nakata, K., Tanaka, H., Kano, Y”, Label-free super-resolution imaging of mitochondria structure of the mouse muscles with photothermal microscopy(Conference Paper),”CLEO: Applications and Technology, CLEO\_AT 2020; Washington; United States”, 2020, 5



# 病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合臨床歯科学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野(Ⅰ)

口腔顎顔面外科学分野(Ⅱ)

高齢者歯科学分野

歯科麻酔学分野

歯科法医学分野

## 病理学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Miyazaki Y, Okuyama A, Hoshino M, Nishimura M, Kikuchi K. Influence of acetaldehyde on oral epithelial cells. *J Oral Cancer Res* 4: DOI:10.36959/915/577, 2021, 3
- 2) 金田朋久、重松久夫、井上勝元、福田正勝、奥 結香、原八重子、瀧澤将太、坂下英、平良芙美子、西村学子、宮崎裕司、星野 都、菊池建太郎、坂下英明：口腔白板症における  $\gamma$ H2AX の発現。明海歯科医学 49(2), 2020, 11

#### 2. 総説

- 1) Ide F, Ito Y, Miyazaki Y, Nishimura M, Kusama K, Kikuchi K. A New Look at the History of Peripheral Ameloblastoma. *Head Neck Pathol* 14(4), doi: 10.1007/s12105-020-01168-6, 2020, 12
- 2) 草間 薫：歯原性腫瘍 2017 年 WHO 国際分類について－2005 年 WHO 国際分類との比較－。小児口腔外科 30 (2) , 2020, 11
- 3) 草間 薫：新型コロナウイルス感染症禍における歯科医学教育。日本歯科医学教育学会誌第 36 巻第 3 号 一般社団法人 日本歯科医学教育学会, 2020, 12

#### 3. 症例報告

- 1) 鈴木 円、難波祐一、塚本亮一、星野 都、菊池建太郎、草間 薫、坂下英明：高齢者の口腔に生じた膿原性肉芽腫の 2 例。有病者歯科医療 29 (3) , 2020, 8
- 2) 田村暢章、菊池建太郎、龍田恒康、小林真彦、園川拓哉、松田玲於奈、山本信治、竹島浩：高齢者に発生した口蓋多形腺腫由来癌の 1 例。老年歯科医学, 35(3), 2020, 12

### C. その他の刊行物など

- 1) Ide F, Ito Y, Nishimura M, Kusama K, Kikuchi K. Peripheral developing odontoma: Is it so rare? *J Cutan Pathol*, 2020, 9
- 2) Ide F, Ito Y, Nishimura M, Kusama K, Kikuchi K. So-Called Neuroepithelial Structures in the Posterolateral Tongue: What Can Be Learned from Former Studies? *Head Neck Pathol*, 2020, 12
- 3) Ide F, Ito Y, Nishimura M, Kikuchi K, Kusama K. Ghost/shadow cell differentiation in salivary gland tumors. *Virchows Arch*, 2020, 10

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 菊池建太郎, 基盤 C, 2019 年度研究実施状況報告書「ヒト唾液腺腫瘍における Epstein-Barr virus の関与」, 日本学術振興会, 2020, 5

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 西村学子「歯周病原菌が酸性する酪酸によるシトルリン化機序の解析」、宮田研究奨励金 (A)
- 2) 星野 都「ヒト口腔扁平上皮癌の発生、進展過程に関する研究－ヒト口腔の dysplasia-carcinoma sequence における老化細胞の局在－」、宮田研究奨励金 (A)

# 薬理学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 監修：金井 好克. 編者：安西 尚彦, 安藤 仁, 浅井 聡. 分担執筆：五嶋 良郎, 上窪 裕二, 櫻井 隆, 安東 賢太郎, 鈴木 秀典, 佐藤 慶太郎, 他 26 名. エース薬理学第 1 版, 株式会社 南山堂, 208-211, 2020, 8

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Morita A., Ouchi M., Satoh K., Terada M., Kon H., Wakashin H., Hayashi K., Anzai N., Oba K., Shimizu A., Fujita T. Development of an organ bath technique for isolated rat pancreas preparations to assess the effect of 1,5-AG on insulin secretion. *Experimental Animals*, Vol. 69, No. 2, 127-134., 2020, 4
- 2) Toyoda H., Kawano T., Sato H., Kato T. Cellular mechanisms underlying the rapid depolarization caused by oxygen and glucose deprivation in layer III pyramidal cells of the somatosensory cortex. *Neuroscience Research*, 164, 1-9, 2020, 5
- 3) Tsuchiya T., Hasegawa N., Yugawa M., Sasaki A., Suda N. and Adachi K. Different Therapeutic Effects of CO<sub>2</sub> and Diode Laser Irradiation on Tooth Movement-Related Pain. *Frontiers in Neurology*, doi: 10.3389/fneur.2020.00481, 2020, 6
- 4) Ohno Y., Satoh K., Shitara A., Into T., Kashimata M. Arginase 1 is involved in lacrimal hyposalivation in male NOD mice, a model of Sjögren's syndrome, regardless of dacryoadenitis status. *Journal of Physiology*, Vol. 598, No. 21, 4907-25, 2020, 11
- 5) Adachi K., Ohno Y., Satoh K., Shitara A., Muramatsu Y., Kashimata M. Cryopreservation of biologically functional submandibular gland rudiments from fetal mice. *In Vivo*, Vol. 34, No. 6, 3271-7, 2020, 12
- 6) Toyoda H., Katagiri A., Kato T., Sato H. Intranasal Administration of Rotenone Reduces GABAergic Inhibition in the Mouse Insular Cortex Leading to Impairment of LTD and Conditioned Taste Aversion Memory. *International Journal of Molecular Sciences*, Vol. 22, No. 1, 1-16, 2020, 12

### 2. 総説

- 1) Satoh K. Regulatory factor for salivary secretion; parotid amylase release

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Yugawa M, Tsuchiya T, Hasegawa N, Sasaki A, Adachi K, Suda N. Alteration of satellite glial GFAP expression by laser irradiation in experimental tooth movement model. 9th International Orthodontic Congress, Online, 2020, 10

### 2. 全国学会

#### (2) シンポジウム

- 1) 佐藤元, 尹東旭, 豊田博紀, 片桐綾乃, 加藤隆史. 毒物投与モデル動物における味覚障害発症機構の解明. 第62回歯科基礎医学会学術大会, Web, 2020, 9

#### (3) 一般演題

- 1) 大内基司, 森田亜州華, 佐藤慶太郎, 小林俊介, 清水章, 安西尚彦, 杉原仁, 大庭建三, 藤田朋恵. ラット膵インスリン分泌評価における Ex vivo 実験系の応用 1,5-AG の効果を検証する先行研究. 第93回日本内分泌学会学術総会大会, Web, 2020, 7
- 2) 湯川未郷, 須田直人, 安達一典. 実験的矯正力負荷時の疼痛に対するレーザー照射の効果 -三叉神経節サテライトグリアの GFAP 発現との関連-. 第62回歯科基礎医学会学術大会, Web, 2020, 9
- 3) 土屋隆子, 湯川未郷, 須田直人, 安達一典. 実験的矯正力負荷時の疼痛に対するレーザー照射の効果 -生理活性と機序の検討-. 第62回歯科基礎医学会学術大会, Web, 2020, 9
- 4) 森田亜州華, 大内基司, 佐藤慶太郎, 藤田朋恵. ラット摘出膵臓の内外分泌能におけるトリプシン活性阻害の影響. 第62回歯科基礎医学会学術大会, Web, 2020, 9
- 5) 大野 雄太, 佐藤慶太郎, 設楽彰子, 柏俣正典. モデル動物を用いた網羅的遺伝子発現解析による涙液分泌能低下原因の探索. 第62回歯科基礎医学会学術大会, Web, 2020, 9
- 6) 小川健二郎, 大野雄太, 山田孝之, 前田咲, 佐藤慶太郎, 柏俣正典. 涙液分泌能低下の予防に向けた食品素材の探索 ブルーベリー葉の可能性. 第62回歯科基礎医学会学術大会, Web, 2020, 9
- 7) 豊田博紀, 佐藤元, 加藤隆史. マウス島皮質シナプス長期増強におけるニコチンおよびドーパミン受容体の役割. 第62回歯科基礎医学会学術大会, Web, 2020, 9
- 8) 森田亜州華, 大内基司, 佐藤慶太郎, 小林俊介, 安西尚彦, 大庭建三, 杉原仁, 清水章, 藤田朋恵. ラット摘出膵を用いた簡易インスリン分泌評価実験系の有効性検討と至適化. 第63回日本糖尿病学会年次学術大会, Web, 2020, 10

- 9) 湯川未郷. 実験的歯の移動に伴う疼痛に対する薬剤歯肉塗布の効果と三叉神経節サテライトグリアのGFAP発現との関連. 明海歯科医学会第42回学術大会, 坂戸, 2020, 10
- 10) 安達一典, 湯川未郷. 歯の移動に伴う疼痛への歯周組織TRPV1とTRPA1の協力的作用. 第94回日本薬理学会年会, Web, 2021, 3
- 11) 大野雄太, 佐藤慶太郎, 設楽彰子, 柏俣正典. アルギナーゼ1は雄性NODマウスにおいて涙液分泌低下に関与する. 第94回日本薬理学会年会, Web, 2021, 3
- 12) 浦田果林, 前田咲, 小川健二郎, 大野雄太, 佐藤慶太郎, 山崎正夫, 西山和夫, 後藤陽, 中山貴之. 涙液分泌能低下の予防に向けた食品素材の探索 ブルーベリー葉の可能性. 日本農芸化学会令和3年度大会, Web, 2021, 3
- 13) 小川健二郎, 前田咲, 浦田果林, 佐藤慶太郎, 大野雄太, 山崎正夫, 西山和夫. 自己免疫疾患シェーグレン症候群の唾液分泌機能低下に及ぼすブルーベリー葉および茎の作用, 日本農芸化学会令和3年度大会, Web, 2021, 3

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 土屋隆子, 湯川未郷, 長谷川尚哉, 佐々木会, 須田直人, 横瀬敏志, 安達一典. 歯の移動に関連する痛みに対する2種の歯科用レーザー照射の治療効果. 第142回日本薬理学会関東部会, 千葉 (Web), 2020, 6

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 佐藤慶太郎 (代表者): 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) 耳下腺および膵アミラーゼの開口分泌に寄与する脂質ラフト上のMARCKSの役割. (2019~2022)
- 2) 佐藤慶太郎 (分担者): 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) 胎生唾液腺原基の培養評価系を用いた器官の凍結保存技術の開発. (2019~2022)
- 3) 佐藤慶太郎 (分担者): 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) 抗酸化作用を介した膵内外分泌から紐解く食品含有1,5-AGの生理機能. (2020~2023)
- 4) 佐藤元 (代表者): 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) パーキンソン病モデル動物における味覚障害発症機構の解明. (2020-2023)
- 5) 佐藤元 (分担者): 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C) 大脳皮質味覚野における局所神経回路の動作原理解明. (2020-2023)

### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 佐藤慶太郎: 宮田研究奨励金 A, 加齢により耳下腺に生じた脂肪組織のドライマウスへの関与

# 総合臨床歯科学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 萩 名子、樋口倫子、村上幸生, 歯科行動科学ワークブック 医療面接マニュアル  
2020年11月版, 明海大学外国語学部 樋口倫子, 2020, 11

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 村上幸生、川田朗史, “Eugenol 二量体は RAW264.7 細胞のヘムオキシゲナーゼ 1 発現を誘導する”, 第 33 回日本口腔診断学会. 東京, 2020, 9
- 2) 早川華穂、井上瑛弘、三木朱里、下山大慈、尾島健斗、佐藤朋佑、渡辺裕美、香村亜希子、田所瑞希、川田朗史、村上幸生, 味覚障害が契機で発見された限局型強皮症の 1 例, 第 33 回日本口腔診断学会. 東京, 2020, 9

## E. その他の研究会、講演など

- 1) 村上幸生, 歯科医師臨床研修制度, 研修目標, 研修方略, 研修評価, 第 12 回埼玉県歯科医師会・明海大学歯学部共催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, さいたま, 2020, 11

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 村上幸生, 抗酸化性フェノール関連化合物による酸化還元感受性転写因子の活性化調節機構を探る, 令和元年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤 C 実績報告書 (研究実績報告書), 2020, 4

## 歯科放射線学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 鬼頭慎司, 高橋伸年, 小澤智宣, 大高祐聖, 酒井(井澤)真希: 4 放射線の防護と管理. In: 解説と例題でわかる歯科放射線テキスト. 勝又明敏, 浅海淳一, 田口 明, 森本泰宏 編, 永末書店, 京都, pp25-34, 2021, 1

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Ruri ASAMI, Hirofumi ABOSHI, Atsushi IWAWAKI, Takeru ISHII, Yusei OHTAKA and Hideki SAKA : Comparison of Age Estimation Accuracy for Maxillary Premolars Using Micro CT. J Meikai Dent Med 49, 78-87, 2020, 11
- 2) Atsushi Iwawaki,, Yusei Otaka, Ruri Asami, Takeru Ishii, Shinji Kito, Yuichi Tamatsu, Hirofumi Aboshi, Hideki Saka : Comparison of air dose and operator exposure from portable X-ray units. Legal Medicine 47, 1-10, 2020, 9
- 3) Yusei Otaka, Yasuo Harata, Maki Izawa, Atsushi Iwawaki, Takeru Ishii, Hideki Saka, Shinji Kito : Reduction of operator exposure by rectangular collimation in portable intraoral radiography. Radiological Physics and Technology 13, 1-9, 2020, 6
- 4) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 芝 規良, 高橋信生, 小松 真, 岩脇淳志, 石井 猛, 二反田淳春, 高橋伸年, 網干博文, 坂 英樹, 鬼頭慎司: 携帯型口内法 X 線撮影装置使用時の歯科放射線防護の取り組み: 口内法撮影における手指被曝線量測定に関して. 明海歯学 49, 66-77, 2020, 11
- 5) 大高祐聖, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 鬼頭慎司: 撮影補助具による歯科的個人識別時の術者被曝低減について. 日本法歯科医学会誌 13, 14-16, 2020, 9
- 6) Giichirou Nakaya, Hiroshi Sakagami, Yukari Koga-Ogawa, Akiyoshi Shiroto, Tadamasa Nobesawa, Daisuke Ueda, Sachie Nakatani, Kenji Kobata, Yosuke Iijima , Shigenobu Tone, Angel David-Gonzalez, Rene Garcia-Contreras, Mineko Tomomura, Shinji Kito , Nobuaki Tamura , Takeshima Takeshima : Augmentation of Neurotoxicity of Anticancer Drugs by X-Ray Irradiation. In Vivo 34 (3), 1009-1016, 2020, 5
- 7) Takahiro Maeda, Masafumi Oda, Shinji Kito, Tatsuou Tanaka, Nao Wakasugi-Sato, Shinobu Matsumoto-Takeda, Takaaki Joujima, Yuichi Miyamura, Koichi Kiyota, Kensuke Ysutsumi, Yasuhiro Morimoto : Can the lower rate of CT-or MRI-related



adverse drug reactions to contrast media due to stricter limitations on patients undergoing contrast-enhanced CT or MRI?. Dentomaxillofac Radio 49(2), 20190214, 2020, 2

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

###### (3) 一般演題

- 1) 浅見瑠璃, 網干博文, 村山良介, 岩脇淳志, 大高祐聖, 近藤真啓, 石井 猛, 小方綾乃, 坂 英樹: Cameriere 法によるオルソパントモグラムを用いた日本人下顎小臼歯の歯髓腔面積比からの年齢推定. 第104次日本法医学会学術全国集会, 京都, 2020, 9
- 2) 大高祐聖, 井澤真希, 芝 規良, 岩脇淳志, 石井 猛, 二反田淳春, 高橋伸年, 坂 英樹, 鬼頭慎司: 携帯型口内法 X 線撮影における簡便な手指被曝線量の把握方法について. 日本法歯科医学会第14回学術大会, 岩手, 2020, 10
- 3) 根岸 徹, 原田康雄, 鬼頭慎司, 奥村泰彦, 大高祐聖, 井澤真希, 芝 規良, 小倉 泉, 石丸智也, 伊藤祐希: 口内法 X 線撮影装置のための半導体線量計の開発. 日本歯科放射線学会第1回秋季学術大会, 長野, 2020, 10
- 4) 石井 猛, 岩脇淳志, 二反田淳春, 田中晃伸, 大高祐聖, 鬼頭慎司, 坂 英樹: 口内法撮影時における被写体の種類による被曝線量の比較. 日本法歯科医学会第14回学術大会, 岩手, 2020, 10
- 5) 石井 猛, 岩脇淳志, 二反田淳春, 大高祐聖, 鬼頭慎司, 坂 英樹: ランドファントムを用いた上顎大白歯部撮影時における線量分布及び作業環境に関する研究. 第18回警察歯科医会全国大会, 鹿児島, 2021, 2

##### 3. 地方会

###### (3) 一般演題

- 1) 岩脇淳志, 大高祐聖, 石井 猛, 二反田淳春, 坂 英樹: 携帯型 X 線発生装置使用時の撮影補助具を使用した手指被曝減弱効果. 第89回日本法医学会学術関東地方集会, 東京, 2020, 10

## 口腔顎顔面外科学(第1分野)

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 松本安吏 森 一将 内田洋子 藤原敬子 嶋田 淳 山本信治：抜歯後に発生した *Acinetobacter* 感染症の1例. 明海歯科医学 49, 142-147, 2020
- 2) 松本安吏 森 一将 内田洋子 藤原敬子 嶋田 淳：下顎歯肉に発生した骨形成性エプーリスの1例. 明海歯科医学 49, 37-40, 2020
- 3) 松本安吏 森 一将 藤原敬子 内田洋子 嶋田 淳 山本信治：当科における過去8年間の80歳以上入院症例の臨床的検討. 明海歯科医学 50, 7-11, 2021
- 4) 森 一将 松本安吏 藤原敬子 並木一郎 長谷川彰彦 嶋田 淳 山本信治：食道裂孔ヘルニアの治療により改善傾向がみられた口腔異常感症の1例. 明海歯科医学 50, 54-58, 2021
- 5) Hana Yamaguchi, Miki Hiroi, Kazumasa Mori, Ryosuke Ushio, Ari Matsumoto, Nobuharu Yamamoto, Jun Shimada, and Yoshihiro Ohmori: Simultaneous Expression of Th1- and Treg-Associated Chemokine Genes and CD4<sup>+</sup>, CD8<sup>+</sup>, and Foxp3<sup>+</sup> Cells in the Premalignant Lesions of 4NQO-Induced Mouse Tongue Tumorigenesis. *Cancers* 13, 1835, 2021
- 6) 田村 暢章, 菊池 建太郎, 龍田 恒康, 小林 真彦, 園川 拓哉, 松田 玲於奈, 山本 信治, 竹島 浩：高齢者に発生した口蓋多形腺腫由来癌の1例. 老年歯科医学 35 巻, p.226-229
- 7) Sasaki A, Fujimoto M, Fujimoto K, Shinagawa R, Sonokawa T, Takusagawa T, Suda N: Orthodontic treatment of a skeletal ClassIII malocclusion with severe root resorption of the maxillary anterior teeth. Autotransplantation using a 3-dimensional printed replica of the donor tooth. *Am J Orthod Dentofacial Orthop* doi: 10.1016/j.ajodo.2020.10.028

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 森 一将：口腔カンジダ症と口腔ケアの重要性. 第19回日本口腔ケア協会学術大会, 教育講演, 浦安, 2020, 11, 28~12, 5

##### (3) 一般演題

- 1) 森 一将, 田村暢章, 藤原敬子, 竹島 浩, 嶋田 淳：舌症状における *Candida albicans* の関与についての検討. 第17回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 長崎, 2020.9.2-3
- 2) 田村暢章, 藤原敬子, 森 一将, 竹島 浩, 嶋田 淳：口腔内に生じた混合感染症の

- 1例。第17回日本口腔ケア学会総会・学術大会、長崎，2020.9.2-3
- 3) 森 一将、松本安吏、藤原敬子、内田洋子、並木一郎、嶋田 淳：食道裂孔ヘルニアが起因と考えられた口腔内不定愁訴の1例。29回有病者歯科医学会、神戸
- 4) 松本安吏 森 一将 藤原敬子 内田洋子 嶋田 淳：糖尿病患者に発生した重症顎周囲膿瘍の症例検討。29回有病者歯科医学会、神戸
- 5) 藤原敬子、森 一将、嶋田 淳：頭蓋内血管圧迫が起因と考えられた口腔内疼痛症例の臨床的検討。9回有病者歯科医学会、神戸
- 6) 森 一将：口腔癌に対するIFN誘導生ケモカインの抗腫瘍作用の分子機構の解明。明海歯科医学会第41回学術大会、坂戸，2020,7,2
- 7) 森 一将、廣井美紀、松本安吏、嶋田 淳、大森喜弘：口腔癌におけるインターフェロン誘導性ケモカインの機能解析。第74回日本口腔科学会学術集会，新潟，2020,4,15~5,15
- 8) 森 一将 藤原敬子 松本安吏 藤田耕太郎 正木喜博 嶋田 淳 山本信治：顎堤吸収の著しい扁平上皮癌症例に腸骨PCBMによる下顎骨再建を施行した1例。第65回日本口腔外科学会総会・学術大会，2020,11,13~11,15
- 9) 松本安吏 森 一将 小野沢豪 藤原敬子 嶋田 淳 山本信治：下顎前歯部に発生したセメント質骨形成性線維腫の1例。第65回日本口腔外科学会総会・学術大会，2020,11,13~11,15
- 10) 牛尾亮介 廣井美紀 松本安吏 森一将 嶋田淳 山本信治 大森喜弘：メチル化阻害剤によるIFN耐性ヒト口腔扁平上皮癌細胞に対する細胞増殖抑制作用。第65回日本口腔外科学会総会・学術大会，2020,11,13~11,15
- 11) 園川拓哉 龍田恒康 佐々木妥啓 河津寛 嶋田淳：明海大学歯学部生涯研修事業の歩み。第50回日本口腔インプラント学会総会，2020.11
- 12) 園川拓哉 高木雄介 川上真 田村暢章 虻川東嗣 龍田恒康 竹島浩 嶋田淳 山本信治：多数の埋伏歯と複数の含歯性嚢胞がみられた2p15-16.1欠失症候群の1例。第65回日本口腔外科学会総会・学術大会，2020,11,13~11,15
- 13) 嶋田 淳，園川 拓哉，井上 季咲，龍田 恒康，山本 信治：インプラント埋入後骨延長により上顎前歯部の審美性を回復した1例。第24回顎顔面インプラント学会総会 2020.12
- 14) 嶋田 淳，園川 拓哉，井上 季咲，龍田 恒康，山本 信治：角化歯肉襟付き結合組織移植を行ってインプラント周囲歯間乳頭を再生した1例。第24回顎顔面インプラント学会総会 2020.12
- 15) 嶋田 淳，園川 拓哉，内田 洋子，打矢 五月，間崎 誠，龍田 恒康：上顎洞底挙上術後副鼻腔炎を発症した1例と誘因の考察。第50回日本口腔インプラント学会総会 2020.9
- 16) 佐々木 会，藤本 舞，藤本 航大，園川 拓哉，上里 忠成，東金 由莉，大塚 雄一郎，

真野 樹子, 嶋田 淳, 須田 直人:呼吸機能の改善を目的として上顎骨前方移動を施行した骨格性下顎前突開咬症例. 第 30 回日本顎変形症学会総会 2020.6

- 17) 豊田 亜希子, 佐々木 会, 上里 忠成, 東金 由莉, 山口 浩司, 藤本 航大, 園川 拓哉, 井上 勝元, 重松 久夫, 虻川 東嗣, 龍田 恒康, 真野 樹子, 大塚 雄一郎, 坂下 英明, 嶋田 淳, 須田 直人:明海大学病院の顎変形症治療における歯科矯正用アンカースクリューの検討. 第 30 回日本顎変形症学会総会 2020.6

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 森 一将:口腔癌における DPP4 による IFN 誘導性ケモカインの不活化作用とその臨床的意義 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C) 2020

##### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 森 一将:口腔癌における腫瘍関連マクロファージの分化誘導に関わる浸潤 T 細胞の検討. 宮田研究奨励金研究 (A) 2020

## 口腔顎顔面外科学(第2分野)

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Hideaki SAKASHITA, Hisao SHIGEMATSU, Fuyoko TAIRA, Hide SAKASHITA, Shota TAKIZAWA, Katsuyuki INOUE, Yuka OKU, Yaeko HARA, Masakatsu FUKUDA, Seiji SUZUKI, Kentaro KIKUCHI, Seishi MAGOSHI, Munehisa OKADA, Masaru MIYATA, Tsubura SUZUKI: Clinical Evaluation on 73 Cases (76 Lesions) of Space-occupying Lesions in the Parotid Gland. 小児口腔外科, 30 (3). 141~151
- 2) 坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 原 八重子, 瀧澤将太, 川本幸寛, 大山嘉人, 平良芙蓉子, 坂下 英, 小峰雄介, 鈴木正二: 上顎骨顎矯正手術の発展(II): Le Fort I型骨きり術の標準術式とその争点. 小児口腔外科, 30 (1). 1~15
- 3) 畠山志野, 重松久夫, 平良芙蓉子, 奥 結香, 坂下英明: 左側頬部に異物迷入をきたしたスポーツ外傷の1例. 小児口腔外科, 30 (3). 152-155
- 4) Noriyuki SUKA, Seishi MAGOSHI, Yudai OGASAWARA, Shota TAKIZAWA, Katsuyuki INOUE, Yuka OKU, Masakatsu FUKUDA, Hisao SHIGEMATSU, Hideaki SAKASHITA: Pleomorphic Adenoma in the Upper Lip: A Case Report and Literature Review. 明海歯科医学 50(1), 59-65
- 5) 平田真理, 重松久夫, 宮本日出, 坂下英明: 口腔扁平上皮癌の増殖・進展メカニズムに関する研究. 明海歯科医学 50(1), 42-53
- 6) Noriyuki SUKA, Seishi MAGOSHI, Hisao SHIGEMATSU, Yudai OGASAWARA, Shota TAKIZAWA, Katsuyuki INOUE, Yuka OKU, Masakatsu FUKUDA, Hideaki SAKASHITA: A Case of Solitary Neurofibroma of the Maxillary Mucogingival Junction with Compression-induced Bone Resorption. 明海歯科医学 49(2), 135-141
- 7) 重松久夫, 本澤秀幸, 浜野洋一, 卷 淳一, 奥 結香, 福田正勝, 原八重子, 井上勝元, 瀧澤将太, 坂下 英, 平良芙蓉子, 岡田宗久, 馬越誠之, 須賀則幸, 林 宏泰, 小笠原悠大, 金田朋久, 塩野隼也, 田川裕也, 鈴木正二, 坂下英明: 大宮歯科医師会と連携して行っている「口腔がん検診」について. 明海歯科医学 49(2), 41-48
- 8) 上里忠成, 佐々木会, 川尻朱美, 東金由莉, 長谷川紘也, 真野樹子, 重松久夫, 坂下英明, 須田直人: 上顎骨の下方移動後にチタンメッシュプレートにより骨片固定した顔面非対称の2例. 日本顎変形症学会, 30(1). 18-32
- 9) 鈴木円, 難波祐一, 塚本亮一, 星野都, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: 高齢者の口腔に生じた膿原性肉芽腫の2例. 有病者歯科 2, 29(3), 69-74
- 10) 星野都, 鈴木円, 塚本亮一, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明: 頭頸部領域に生じた

石灰化上皮腫の2例. Hospital dentistry and oral maxillofacial surgery, 29(1), 53-58

- 11) 金田朋久、重松久夫、井上勝元、福田正勝、奥結香、原八重子、瀧沢将太、坂下英、平良芙蓉子、西村学子、宮崎裕司、星野都、菊池建太郎、坂下英明：口腔白板症における yH2AX の発現. 明海歯科医学 49(2), 122-128
- 12) 藤本舞、佐々木会、藤本航大、真野樹子、坂下英明、時岡一幸、須田直人：Le Fort I 型骨切り術により上顎骨の前下方移動と yawing の改善を図った左側唇顎口蓋裂の1例. 日本口蓋裂学会 45(3), 225-236
- 13) 坂下英明、井上勝元、重松久夫、福田正勝、奥結香、原八重子、瀧沢将太、河本幸寛、大山嘉人、平良芙蓉子、坂下英、鈴木正二：文献から見た明治5年から昭和47年の間の我が国口腔外科の歴史（VI）. 日本歯科医史学会 33(4), 392-410

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

###### (1) 一般演題

- 1) 鈴木円、難波祐一、板橋由紀、塚本亮一、續秀高、坂下英明：向精神薬服用患者に対するデクスメデトミジン塩酸塩を用いた静脈内鎮静法の検討. 29 回有病者歯科医学会、神戸
- 2) 塚本亮一、鈴木円、難波祐一、坂下英明：遺伝性出血性末梢血管拡張患者に対して輸血し、抜歯を行った1症例. 29 回有病者歯科医学会、神戸
- 3) 釜本宗史、高木純一郎、坂下英明、宮田勝：口腔症状を主訴に受診したカボジ水痘様発疹症の1例. 29 回有病者歯科医学会、神戸
- 4) 仲井慎吾、釜本宗史、高木純一郎、宮田勝、坂下英明：ARONJ の外科的療法後の顎補綴治療にて口腔機能改善を図った治療経験. 29 回有病者歯科医学会、神戸
- 5) 宮田勝、高木純一郎、釜本宗史、越田美和、向真紀、槇野莉沙、塚本暁子、仲井慎吾、坂下英明：周術期口腔機能管理の現状と紹介率への影響. 29 回有病者歯科医学会、神戸
- 6) 三浦ルミ、宇津木忠、高山史年、高山裕正、泉垂矢子、松元久仁子、加藤開、谷野弦、本間英孝、田口耕平、坂下英明：社会福祉法人ケアポート板橋で行っている経口維持加算の取り組み効果. 29 回有病者歯科医学会、神戸
- 7) 大野由夏、高木沙央理、井上勝元、原八重子、坂下英明、小長谷光：抗血小板薬内服継続下に舌部分切除術施行後出血により輪状甲状膜穿刺を要した一症例. 29 回有病者歯科医学会、神戸
- 8) 坂下英明、井上勝元、重松久夫、福田正勝、奥結香、原八重子、瀧沢将太、川本幸寛、大山嘉人、平良芙蓉子、坂下英、鈴木正二：昭和12年の軍陣歯科学の講義内容と日本陸軍の軍陣歯科学についての考察. 第48回日本歯科医史学会総会・学術大会、

東京

- 9) 福田正勝、坂下英明：レスベラトロール SREBP1 活性を抑制することで口腔癌の増殖を抑制しオートファージ細胞死を誘導する. 第 79 回日本癌学会
- 10) 宮田勝、高木純一郎、釜本宗史、仲井慎吾、坂下英明：口唇に発生した多形腺腫の 2 例. 第 26 回日本口腔内科学会
- 11) 仲井慎吾、釜本宗史、高木純一郎、宮田勝、坂下英明：下顎埋伏智歯抜歯後に単純性骨嚢胞を生じた 1 例. 第 26 回日本口腔内科学会
- 12) 高木純一郎、釜本宗史、仲井慎吾、宮田勝、坂下英明：病的骨折を生じた放射線性下顎骨骨髓炎の 1 例. 第 26 回日本口腔内科学会
- 13) 永井康一、鈴木円、難波祐一、塚本亮一、坂下英明：術前診査を契機に判明した EDTA 依存性偽性血小板減少症の 1 例. 第 32 回小児口腔外科
- 14) 原八重子、井出彩由利、瀧澤将太、井上勝元、重松久夫、坂下英明、大淵英恵、星野倫範、菊池建太郎：左側口蓋病変にて診断された小児の Langerhans cell histiocytosis の 1 例. 第 32 回小児口腔外科
- 15) 宮田勝、高木純一郎、釜本宗史、宇佐美雄司、坂下英明：エイズ北陸ブロック拠点病院における HIV 診療体制の整備の取り組みの現状と問題点. 第 69 回日本口腔科学会
- 16) 高木純一郎、釜本宗史、宮田勝、坂下英明：当院における摂食嚥下チームの活動について. 第 69 回日本口腔科学会
- 17) 豊田 亜希子, 佐々木 会, 上里 忠成, 東金 由莉, 山口 浩司, 藤本 航大, 園川 拓哉, 井上 勝元, 重松 久夫, 虻川 東嗣, 龍田 恒康, 真野 樹子, 大塚 雄一郎, 坂下 英明, 嶋田 淳, 須田 直人：明海大学病院の顎変形症治療における歯科矯正用アンカースクリューの検討. 第 30 回日本顎変形症学会総会 2020.6

# 高齢者歯科学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) “GIICHIROU NAKAYA, HIROSHI SAKAGAMI, YUKARI KOGA-OGAWA, AKIYOSHI SHIROTO, TADAMASA NOBESAWA, DAISUKE UEDA, SACHIE NAKATANI, KENJI KOBATA, YOSUKE IIJIMA, SHIGENOBU TONE, ANGEL DAVID-GONZALEZ, RENE GARCIA- CONTRERAS, MINEKO TOMOMURA, SHINJI KITO, NOBUAKI TAMURA and HIROSHI TAKESHIMA”, “Augmentation of Neurotoxicity of Anticancer Drugs by X-Ray Irradiation”, “in vivo 34: 1009-1016 (2020) doi:10.21873/invivo.11869”, 2020, 5
- 2) “Harutsugi Abukawa, Takashi Ogawa, Masahiko Kobayashi, Iwao Suzuki, Daichi Chikazu, Jun Shimada”, “Does TMJ Function and Imaging Tools Help Differentiate Between Condylar Resorption and Mandibular Hypoplasia?”, J Oral Maxillofac Surg, 78(8), 1397-1402”, 2020, 8

### 3. 症例報告

- 1) 田村暢章, 菊池建太郎, 龍田恒康, 小林真彦, 園川拓哉, 松田玲於奈, 山本信治, 竹島 浩, 高齢者に発生した口蓋多形腺腫由来癌の 1 例, 老年歯科医学 第 35 巻 3 号, 226-229, 2020”, 2020, 12

## C. その他の刊行物など

- 1) Khalil Shahramian, 小林真彦 (Masahiko Kobayashi), 思考に感染した COVID-19, “New Food Industry, Vol.62. No.6, 456-459, 2020”, 2020, 6
- 2) 田村暢章、坂上 宏、松田玲於奈、竹島 浩, 第 30 回日本老年歯科医学会学術大会に参加して～フレイルに対する対処法, “New Food Industry vol.62, No.8, 589-593, 2020”, 2020, 8

## 2. 全国学会

### (3) 一般演題

- 1) 田村暢章, 藤原敬子, 森 一将, 竹島 浩, 嶋田 淳, 口腔内に生じた混合感染症の 1 例, 第 17 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 (長崎), 2020, 9
- 2) 松田玲於奈, 田村暢章, 竹島 浩, 坂上 宏, 抗酸化剤の腫瘍選択性と神経保護作用の定量化による再検討, 第 31 回日本老年歯科医学会総会・学術大会 (Web 開催), 2020, 11
- 3) 森 一将, 田村暢章, 竹島 浩, 嶋田 淳, 舌症状における Candida albicans の関与についての検討, 第 17 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 (長崎), 2020, 9
- 4) 園川拓哉, 高木雄介, 川上 真, 田村暢章, 虻川東嗣, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, 山本信治, 多数の埋伏歯と複数の含歯性嚢胞がみられた 2p15-16.1 欠失症候群の 1 例, 第 65 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (Web 開催), 2020, 11



# 歯科麻酔学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 飯島毅彦, 今村佳樹, 大井良之, 大野由夏, 岡俊一, 岡田明子, 河原博, 小長谷光, 高木沙央理, 谷口省吾, 森本佳成. 歯科麻酔・生体管理学第2版, 学建書院. 2020.
- 2) 丹羽均, 入船正浩, 小長谷光, 澁谷徹, 大野由夏. 第6版 臨床歯科麻酔学, 永末書店. 2020.
- 3) 福島和昭, 一戸達也, 北畑洋, 嶋田昌彦, 丹羽均, 宮脇卓也, 小長谷光. 歯科麻酔学第8版, 医歯薬出版株式会社. 2020.

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Noma N, Watanabe Y, Shimada A, Usuda S, Iida T, Shimada A, Tanaka Y, Oono Y, Sasaki K. Effects of cognitive behavioral therapy on orofacial pain conditions. J Oral Sci. 2020;63(1):4-7.
- 2) 大野 由夏, 河野 亮子, 安藤 慎之介, 高木 沙央理, 小長谷 光. 冷温刺激および圧刺激をもちいた内因性疼痛調節機構測定装置の開発. 日本口腔顔面痛学会雑誌 2021; 13巻1号, Page117-127.
- 3) 小長谷光, 大野由夏, 高木沙央理, 今村敏克. 温熱刺激ならびに圧刺激による疼痛測定装置の開発. 麻酔・集中治療とテクノロジー2020.
- 4) 早川華穂, 高木沙央理, 高島恵子, 松本勝洋, 松村真由美, 河野亮子, 安藤慎之介, 大野由夏, 小長谷光. 精神性発汗測定を用いた歯科治療のストレス評価. 明海歯科医学. 49巻1号, Page8-14, 2020.

### 2. 総説

- 1) 大野 由夏, 小長谷 光. 術後急性痛および遷延性術後痛発症リスクファクターの探索. PAIN RESEARCH. 2021; 36巻1号, Page24-34.

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Oono Y, Takashima K, Kono R, Ando S, Kobayashi K, Makino K, Nagasaka H, Wang K, Arendt-Nielsen L, Kohase H. Acute Post-operative Pain of Orthognathic Surgery can be Predicted by the Pre-operative Evaluation of Conditioned Pain Modulation (CPM) and Pain Catastrophizing Scale (PCS). IASP 2020 World

2. 全国学会

(2) シンポジウム

- 1) 大野 由夏, 小長谷 光. 遷延性術後痛発生のメカニズム解明と予防への展望  
術後急性痛および遷延性術後痛発症リスクファクターの探索(会議録). PAIN  
RESEARCH (0915-8588)35 巻 4 号 Page198(2020.12)

(3) 一般演題

- 1) 大野由夏, 高木沙央理, 井上勝元, 原八重子, 坂下英明, 小長谷光. 抗血小板薬  
内服継続下に舌部分切除術施行後出血により輪状甲状膜穿刺を要した一症例.  
有病者歯科医療. 29 巻 1 号 Page84(2020.04)
- 2) 鈴木 史人, 福田 雅幸, 大野 由夏, 高野 裕史, 高木 沙央理, 鈴木 兼一郎,  
久保 英範, 伊藤 花菜, 小長谷 光. 抜管後に院内搬送を行い覚醒させた自閉症症  
例を通しての施設環境の検討. 有病者歯科医療. 29 巻 1 号 Page120(2020.04)
- 3) 鈴木 史人, 小長谷 光, 高野 裕史, 大野 由夏, 高木 沙央理, 鈴木 兼一郎,  
久保 英範, 伊藤 花菜, 福田 雅幸. 病的肥満自閉症患者にピーズピローを用いて  
ランプ体位で気道確保した麻酔経験の検討. 有病者歯科医療. 29 巻 1 号  
Page120(2020.04)
- 4) 飯島 孝太, 関 みつ子, 早川 智, 安藤 槇之介, 小長谷 光, 星野 倫範.  
SARS-CoV2 簡易迅速検出法の開発. 感染症学雑誌. 5 巻臨増 Page250(2021.04)
- 5) 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光. 精神性発汗量モニタリング法を用いた  
歯科治療によるストレスの定量的評価. 明海歯科医学. 49 巻 2 号 Page  
S29-S30(2020.11)
- 6) 大野 由夏, 高木 沙央理, 小長谷 光. Temporal Summation、Offset Analgesia を  
用いた術後急性痛発症危険因子の解明. 明海歯科医学. 9 巻 2 号 Page S28(2020.11).
- 7) 鈴木 史人, 大野 由夏, 高木 沙央理, 小長谷 光 DNAR 指示 ARDS 患者で鼻口用  
メインストリーム方式によるカプノグラフ測定が有用であった 1 例. 障害者歯科 .  
41 巻 3 号 Page253(2020.09)
- 8) 大野 由夏, 高木 沙央理, 小林 克江, 牧野 兼三, 鈴木 史人, 小長谷 光. 本院に  
おける病棟・手術室 COVID-19 対策 手術症例全例 SARS-CoV-2 PCR 検査施行方針の  
決定. 障害者歯科. 41 巻 3 号 Page182(2020.09)
- 9) 脇田 亮, 横田 達哉, 中島 淳, 鈴木 朋, 菊田 高行, 内田 博之, 宮川 慎二郎,  
新井 暉子, 桜井 真理, 白井 弘三, 戸坂 清二, 時田 英紀, 丸山 清孝,  
小長谷 光, 篠塚 修 Potocki-Lupski 症候群の歯科治療経験. 障害者歯科. 41 巻  
3 号 Page231(2020.09)
- 10) 鈴木 史人, 鈴木 兼一郎, 伊藤 洋子, 泉 幸江, 津田 裕貴, 大野 由夏,  
高木 沙央理, 小長谷 光. 特異的な発赤を認めた難治性顔回部分発作重積型急性

脳炎(AERRPS)患者への麻酔経験. 日本臨床麻酔学会誌. 40 巻 6 号 Page S347(2020.10)

- 11) 鈴木 史人, 鈴木 兼一郎, 津田 裕貴, 塚田 千絵, 泉 幸江, 大野 由夏, 高木 沙央理, 小長谷 光. 声門下気管狭窄を伴う巨脳症併発重度知的障害患者への麻酔経験. 日本臨床麻酔学会誌. 40 巻 6 号 Page S323(2020.10)
- 12) 高木 沙央理, 安藤 慎之介, 河野 亮子, 前田 祐佳, 石黒 隆, 大野 由夏, 小長谷 光. 超高感度スマート圧電振動センサ AYA-P による上気道閉塞モニタリング. 日本臨床麻酔学会誌. 40 巻 6 号 Page S242(2020.10)
- 13) 鈴木 史人, 大野 由夏, 高木 沙央理, 小長谷 光. 積極的な肺保護換気の必要性があった慢性片対宿主病患者への麻酔経験. 日本歯科麻酔学会雑誌. 48 巻抄録号 Page149(2020.09)
- 14) 安藤 慎之介, 河野 亮子, 大久保 大輝, 桐生 賢太, 中村 吉里, 斉藤 雅, 永野 崇信, 坂田 泰彦, 小林 克江, 牧野 兼三, 長谷川 彰彦, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光. 次世代情報共有基盤システム Net-Commons3 を用いた遠隔講義環境構築の実践. 日本歯科麻酔学会雑誌. 48 巻抄録号 Page143(2020.09)
- 15) 鈴木 史人, 大野 由夏, 高木 沙央理, 小長谷 光. 秋田県 A 病院における COVID-19 無症状患者に対応した麻酔時感染対策の検討(会議録). 日本歯科麻酔学会雑誌. 48 巻抄録号 Page140(2020.09)
- 16) 安藤 慎之介, 高木 沙央理, 河野 亮子, 原田 達也, 高橋 敏克, 大野 由夏, 前田 祐佳, 石黒 隆, 小長谷 光. 超高感度スマート圧電振動センサ(AYA-P)を利用した呼吸モニタリング法の開発(会議録). 日本歯科麻酔学会雑誌. 48 巻抄録号 Page111(2020.09)
- 17) 河野 亮子, 大野 由夏, 高島 恵子, 高橋 敏克, 安藤 慎之介, 高木 沙央理, 長谷川 彰彦, 長坂 浩, 小長谷 光. 健康成人における内因性疼痛調節機構測定装置による CPM・TS・OA 評価(会議録). 日本歯科麻酔学会雑誌. 48 巻抄録号 Page110(2020.09)
- 18) 安藤 慎之介, 大野 由夏, 高島 恵子, 高木 沙央理, 長坂 浩, 小長谷 光. 顎変形症手術において術前の conditioned pain modulation (CPM) 測定と pain catastrophizing scale (PCS) 評価は術後痛予測に有用である. 日本麻酔科学会.

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) paperChart ワークショップ. 日本歯科麻酔学会. 2020.

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 研究代表者：小長谷 光, 研究分担者：大野由夏, 大上 沙央理. 口腔顔面痛に

対する新しい診断治療のアプローチ—内因性疼痛抑制機能評価の応用—, 20K10189, 基盤研究(C), 2020-2022.

2) 研究代表者：大野由夏, 研究分担者：小長谷 光, 大上 沙央理. 遷延性術後痛発症スクリーニング検査法の開発, 18K08826, 基盤研究(C), 2018-2020.

### 3. 宮田研究奨励金 (A)

1) 宮田研究奨励金 (A), 大野由夏, Temporal Summation、Offset Analgesia を用いた術後急性痛発症危険因子の解明 2.

2) 宮田研究奨励金 (A), 高木沙央理, 精神性発汗量モニタリング法を用いた歯科治療によるストレスの定量的評価.

# 歯科法医学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 坂 英樹, 岩脇淳志, Chapter7 小児歯科トピックス 1.虐待・ネグレクト, 小児歯科はじめましょう (編著: 田中晃伸, 仲野和彦, 権 暁成), デンタルダイヤモンド社, pp76-77, 2020, 6

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Otaka Y, Harata Y, Izawa M, Iwawaki A, Ishii T, Saka H, Kito S, Reduction of operator exposure by rectangular collimation in portable intraoral radiography, Radiological Physics and Technology 13, 1-9, 2020, 6
- 2) 大高祐聖, 原田康雄, 井澤真希, 芝 規良, 高橋信生, 小松真, 岩脇淳志, 石井猛, 二反田淳春, 高橋伸年, 網干博文, 坂 英樹, 鬼頭慎司, 携帯型口内法 X線撮影装置使用時の歯科放射線防護の取り組み: 口内法撮影における手指被曝線量測定に関して, 明海歯科医学 49, 66-77, 2020, 11
- 3) Asami R, Aboshi H, Iwawaki A, Ishii T, Ohtaka Y, Saka H, Comparison of Age Estimation Accuracy for Maxillary Premolars Using Micro CT, 明海歯科医学 49, 78-87, 2020, 11

### 4. 短報

- 1) 大高祐聖, 井澤真希, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 石井 猛, 坂 英樹, 鬼頭慎司, 撮影補助具による歯科的個人識別時の術者被曝低減について, 日本法歯科医学会誌, 13, 14-16, 2020, 9
- 2) Iwawaki A, Otaka Y, Asami R, Ishii T, Kito S, Tamatsu Y, Aboshi H, Saka H, Comparison of air dose and operator exposure from portable X-ray units, Legal Medicine 47, 101787, 2020, 11

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 浅見瑠璃, 網干博文, 村山良介, 岩脇淳志, 大高祐聖, 近藤真啓, 石井 猛, 小方綾乃, 坂 英樹, Cameriere 法によるオルソパントモグラムを用いた日本人下顎小白歯の歯髓腔面積比からの年齢推定, 第 104 次日本法医学会学術全国集会, 京都, 2020, 9

- 2) 石井 猛, 岩脇淳志, 二反田淳春, 田中晃伸, 大高祐聖, 鬼頭慎司, 坂 英樹, 口内法撮影時における被写体の種類による被曝線量の比較, 日本法歯科医学会第14回学術大会, 盛岡, 2020, 10
- 3) 大高祐聖, 井澤真希, 芝 規良, 岩脇淳志, 石井 猛, 二反田淳春, 高橋伸年, 坂 英樹, 鬼頭慎司, 携帯型口内法 X線撮影における簡便な手指被曝線量の把握方法について, 日本法歯科医学会第14回学術大会, 盛岡, 2020, 10
- 4) 石井 猛, 岩脇淳志, 二反田淳春, 大高祐聖, 鬼頭慎司, 坂 英樹, ランドファントムを用いた上顎大白歯部撮影時における線量分布及び作業環境に関する研究, 第18回警察歯科医会全国大会, 鹿児島, 2021, 2

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 石井 猛, 災害時の個人識別を想定したエックス線発生装置使用時における被写体の種類による被曝線量の比較, 明海歯科医学会第41回学術大会, 坂戸, 2020, 7
- 2) 岩脇淳志, 大高祐聖, 石井 猛, 二反田淳春, 坂 英樹, 携帯型エックス線発生装置使用時の撮影補助具を使用した手指被曝減弱効果について, 第89回日本法医学会学術関東地方集会, 東京, 2020, 10

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂 英樹, 歯が教えてくれる～成長・発育から個人識別まで～, 多摩市教育委員会、学校保健会、学校歯科医会共催 令和2年度歯科講習会, 東京, 2020, 10
- 2) 坂 英樹, 大規模災害における歯科医師の役割, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科特別講義, 鹿児島, 2020, 11

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 3. 宮田研究奨励金 (E)

- 1) 石井 猛, 大規模災害時における X線発生装置使用時の被曝管理、対策に関する研究, 2020, 4

# 社会健康科学講座

口腔衛生学分野

スポーツ歯学分野

障がい者歯科学分野

## 口腔衛生学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) “深井智子, 望月 司, 皆川真哉, 中野文夫, 吉川 賢, 河合裕直, 八木裕太, 竹下 玲, 申 基喆, 安井利一”, 「川越市における糖尿病に関わる歯科医科連携の試みに関して」第三報～糖尿病性腎症と平均残存歯数, 歯科疾患実態調査の質問項目を使用した口腔に関する自覚症状の検討～, 明海歯科医学 50 卷, 2021, 3
- 2) “深井智子, 望月 司, 皆川真哉, 中野文夫, 吉川 賢, 河合裕直, 八木裕太, 竹下 玲, 申 基喆, 安井利一”, 「川越市における糖尿病に関わる歯科医科連携の試みに関して」第二報～糖尿病患者の口腔内に関する主観的評価とオーラルリテラシーに関する実態調査～, 明海歯科医学 49 卷, 2020, 11
- 3) “Irie K, Azuma T, Yonenaga T, Hada M, Watanabe K, Deguchi F, Obora A, Kojima T and Tomofuji T”, Eating quickly is associated with Ultrasound-diagnosed Non-alcoholic Fatty Liver Disease in Japanese Adults,”Acta Scientific Nutritional Health 4, 28-34”, 2020, 12
- 4) “Shiota N, Kinoshita A, Sunaga M, Tanabe G, Hayashi K, Churei H, Fukai T, Matsumoto M, Yasui T, Ueno T”, Learning effectiveness of interactive computer-assisted learning in clinical sports dentistry for undergraduate students: Studies over a multiple year period and at two universities in Japan, European Journal of Dental Education, 2021, 2
- 5) “菅野 範, 安藤智教, 中禮 宏, 松本 勝, 鈴木宏哉, 佐々木玲子, 山下光輝, 佐藤勲興, 海老原京太, 大島直也, 林 海里, 高橋 優美, 外川海斗, 吉田結梨子, 入江 浩一郎, 北 邦宏, 丸山祐士, 石塚創也, 青野 博, 上野俊明”, ガム咀嚼トレーニング介入が中学生の咬合力と運動能力に及ぼす影響, スポーツ歯学 24, 12-17, 2020, 8
- 6) “西條光雅, 竹下玲, 松本勝, 深井智子, 宮澤慶, 北 邦宏, 高野梨沙, 丸山裕士, 安井利一”, 介護老人福祉施設入居者の食事形態と口腔環境の関連性の検討, 口腔衛生学会雑誌 71, 19-27, 2021, 1
- 7) “入江 浩一郎, 田畑 綾乃, 内田 瑤子, 江國 大輔, 友藤 孝明, 森田 学”, 抗菌的光線力学療法が歯肉縁下細菌叢の形成に与える影響について, 口腔衛生学会雑誌 70, 144-151, 2020, 7
- 8) “丸山裕士, 野村圭介, 深井智子, 竹下玲, 松本勝, 北邦宏, 西條光雅, 入江浩一郎, 申基喆, 安井利一”, 中学校期での保健活動を効果的に行うための検討 学校歯科健康診断における診査項目の関連, 明海歯学誌, 49, 105-110, 2020, 11



### C. その他の刊行物など

- 1) “入江 浩一郎”, 職種が歯周病の発症に影響を与えるのか, 職場等で活用するための  
歯科口腔保健推進の手引き, 3-4, 公益財団法人 8020 推進財団 2020 年度調査  
研究事業, 2021, 3

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) “宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 北 邦宏, 安井 利一”, 4 年制歯科衛生士養成所  
学校におけるスポーツ歯学に関する興味, 第 31 回日本スポーツ歯科医学会  
(広島), 2020, 12
- 2) “北 邦宏, 松本 勝, 宮澤 慶, 深井 智子, 入江 浩一郎, 丸山 裕士, 小野 大地, 竹下 玲,  
安井 利一”, マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討  
(第 6 報) 上顎前歯部の厚さを確保する製作法について, 第 31 回日本スポーツ歯科  
医学会 (広島), 2020, 12
- 3) “望月 司, 深井智子, 皆川真哉, 竹下 玲, 安井利一”, 川越市における糖尿病に  
関わる医科歯科連携の試み (第 4 報) ~ 研修会開催から見えてくる現状報告 ~,  
第 69 回日本口腔衛生学会・総会, 福岡市, 2020, 4
- 4) “望月 司, 皆川真哉, 松田昌文, 深井智子, 吉川 賢, 中野文夫, 河合裕直,  
八木裕太, 竹下 玲, 安井利一”, 川越市における糖尿病に関わる医科歯科連携の  
試みに関して (第 4 報), 第 63 回日本糖尿病学会, 2020, 5
- 5) “入江 浩一郎, 安井利一”, 腸内細菌が口腔粘膜免疫に及ぼす影響について  
第 69 回日本口腔衛生学会・総会, 福岡, 2020, 4
- 6) “深井智子”, 糖尿病患者の口腔内に関する主観的評価とオーラルリテラシーに関する  
実態調査, 第 41 回明海歯科医学会, 2020, 7
- 7) “西條光雅, 竹下玲, 深井智子, 北 邦宏, 丸山裕士, 安井利一”, 特別養護老人  
ホーム入居高齢者における日常生活自立度と臼歯部咬合安定状況の関連について  
(第二報), 第 69 回日本口腔衛生学会・総会, 福岡市, 2020, 4

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 入江 浩一郎, 健康格差を縮め地域みんなで健康になるには, 令和 2 年度 第 1 回  
成人歯科保健推進研修会, 2020, 11
- 2) 入江 浩一郎, 抗菌的光線力学療法が歯肉縁下細菌叢の形成に与える影響について,  
日本口腔衛生学会論文奨励賞, 2021, 3
- 3) 入江 浩一郎, 歯科における国際保健について, 朝日大学歯学部 口腔感染医療学  
講座 特別講義, 2020, 10

- 4) 竹下 玲, 歯科医院での新型コロナウイルス感染症の理解を深め負けないために～竹下玲教授との対談, YouTube(ソーシャルメディア), 2020, 9
- 5) 竹下 玲, 中高年の疾病予防・健康づくりと介護予防, 朝日大学歯学部, 講義(公衆衛生学・2年生対象), 岐阜県瑞穂市, 2020, 7

## スポーツ歯学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 菅野 範, 安藤 智教, 中禮 宏, 松本 勝, 鈴木 宏哉, 佐々木 玲子, 山下 光輝, 他,  
ガム咀嚼トレーニング介入が中学生の咬合力と運動能力に及ぼす影響, スポーツ  
歯学, 24, pp 12 - 17, 2020, 8
- 2) 丸山 裕士, 野村 圭介, 深井 智子, 竹下 玲, 松本 勝, 北 邦宏, 西條 光雅,  
入江 浩一郎, 申 基喆, 安井 利一, 中学校期での保健活動を効果的に行うための  
検討学校歯科健康診断における診査項目の関連, 明海歯科医学, 49, pp105-110,  
2020, 11
- 3) 西條 光雅, 竹下 玲, 松本 勝, 深井 智子, 宮澤 慶, 北 邦宏, 高野 梨沙,  
丸山 裕士, 安井 利一, 介護老人福祉施設入居者の食事形態と口腔環境の関連性の  
検討, 口腔衛生学会雑誌, 71, pp 19-27, 2021, 1
- 4) Nana Shiota, Atsuhiko Kinoshita, Masayo Sunaga, Gen Tanabe, Kairi Hayashi,  
Hiroshi Churei, Tomoko Fukai, Masaru Matsumoto, Toshikazu Yasui,  
Toshiaki Ueno, Effectiveness of computer-assisted learning in sports  
dentistry: Studies over a multiple-year period and at two universities,  
European Journal Of Dental Education, Online ahead of print ( PubMed, DOI ),  
2021, 1

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (2) シンポジウム

- 1) 松本勝, 上野俊明, 武田友孝, スポーツデンティストが考える咬合とは 咬合から  
健康づくりを考える, 第 30 回日本全身咬合学会学術大会, 誌上開催, 2020, 9

##### (3) 一般演題

- 1) 宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井 智子, 北 邦宏, 安井 利一, 4 年制歯科衛生士  
養成所学校におけるスポーツ歯学に関する興味, 第 31 回日本スポーツ歯科医学会  
学術大会, 広島, 2020, 12
- 2) 北邦宏, 松本勝, 宮澤慶, 杉山義祥, 安井利一, マウスガードの厚さを確保する  
ためのシート圧接法についての検討-第 5 報ポリオレフィンシートで作製した MG,  
第 31 回日本臨床スポーツ医学会学術大会, 宮崎 (Web 開催), 2020, 11
- 3) 北邦宏, 松本勝, 宮澤慶, 深井智子, 入江浩一郎, 丸山裕司, 小野大地, 竹下玲,  
安井利一, マウスガードの厚さを確保するためのシート圧接法についての検討-  
第 6 上顎前歯部の厚さを確保する製作法について, 第 31 回日本スポーツ歯科  
医学会学術大会, 広島, 2020, 12

E. その他の研究会、講演など

- 1) 安井利一, 松本 勝, 上野俊明, 中禮宏, ドーピングとスポーツ栄養, 埼玉県歯科医師会主催「令和2年スポーツ歯科講習会」, 埼玉, 2020, 9
- 2) 安井利一, 松本 勝, 宮澤慶, 上野俊明, マルチレイヤーマウスガード作製法, 埼玉県歯科医師会主催「令和2年スポーツ歯科講習会」, 埼玉, 2020, 11

## 障がい者歯科学

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 大野 由夏(明海大学 歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野), 高木 沙央理, 小林 克江, 牧野 兼三, 鈴木 史人, 小長谷 光本院における病棟・手術室 COVID-19 対策 手術症例全例 SARS-CoV-2 PCR 検査施行方針の決定, 第 37 回 日本障害者歯科学会総会・学術大会 2020.10 (Web 開催)
- 2) 安藤 槇之介(明海大学 歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野), 河野 亮子, 大久保 大輝, 桐生 賢太, 中村 吉里, 斉藤 雅, 永野 崇信, 坂田 泰彦, 小林 克江, 牧野 兼三, 長谷川 彰彦, 高木 沙央理, 大野 由夏, 小長谷 光, 次世代情報共有基盤システム Net-Commons3 を用いた遠隔講義環境構築の実践, 第 48 回 日本歯科麻酔学会総会・学術大会 2020.11 (オンライン開催)

# 総合臨床医学講座

内 科 学 分 野

耳 鼻 咽 喉 科 学 分 野

## 内科学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 長谷川彰彦：頻脈・徐脈，不整脈．In：歯科医師のための内科学，千葉俊美，山田浩之編集，医歯薬出版，東京，pp40-41,125-128,2021年

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Kadokura H, Yamazaki T, Kato Y, Matsumoto K, Hasegawa A, Sakagami H and Yokose S : Establishment of culture system of cementoblast-like cells isolated from rat periodontal ligament. J Meikai Dent Med,50, 1-6,2021.

#### 2. 総説

- 1) 横瀬敏志，加藤邑佳，長谷川彰彦，増田宜子：歯内療法におけるレーザー応用の可能性について．日本歯内療法学会雑誌，41, 77-81, 2020.

#### 3. 症例報告

- 1) 森一将，松本安吏，藤原敬子，内田洋子，並木一郎，長谷川彰彦，嶋田淳，山本信治：食道裂孔ヘルニアの治療により改善傾向がみられた口腔異常感症の1例．明海歯科医学，50, 54-58, 2021.

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 河野亮子，大野由夏，高島恵子，高橋敏克，安藤慎之介，高木沙央理，長谷川彰彦，長坂浩，小長谷光：健康成人における内因性疼痛調節機構測定装置による CPM・TS・0A 評価．第 48 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，徳島（オンライン開催），2020 年 10 月～11 月．
- 2) 安藤慎之介，河野亮子，大久保大輝，桐生賢太，中村吉里，斉藤雅，永野崇信，坂田泰彦，小林克江，牧野兼三，長谷川彰彦，高木沙央理，大野由夏，小長谷光：次世代情報共有基盤システム Net-Commons3 を用いた遠隔講義環境構築の実践．第 48 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会，徳島（オンライン開催），2020 年 10 月～11 月．

## 耳鼻咽喉科学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) “Nomura T, Ishikawa J, Ohki M, Ohata A, Araki R, Kikuchi S”, “Multifactorial analysis of local control and survival in patients with early glottic cancer”, *Laryngoscope*. 2020 ;130:1701-1706., 2020, 8

### D. 学会発表

#### 3. 地方会

##### (2) シンポジウム

- 1) 第30回日本顎変形症学会 2020/6/24

外科的矯正治療による機能改善の検証と今後 顎矯正手術が上気道、睡眠に及ぼす影響 computational fluid dynamics による解析 野村 務

##### (3) 一般演題

- 1) 第121回日本耳鼻咽喉科学会総会 2020/10/7

歯性副鼻腔炎の診断、治療に対する医科歯科連携アプローチ 野村 務



# 明海大学歯科医学総合研究所

Meikai University Research Institute of Odontology

(M-RIO)

## 明海大学歯科医学総合研究所(M-R10)

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Tugrak M, Gul HI, Sakagami H and Gulcin I. Synthesis, cytotoxic and carbonic anhydrase inhibitory effects of new 2-(3-(4-methoxyphenyl)-5-(aryl)-4,5-dihydro-1H-pyrazol-1-yl)benzo[d]thiazole derivatives. *J Heterocyclic Chem* 57 (7), 2020. DOI:10.1002/jhet.307 April 2020, 2020,4
- 2) Xiao LI, Sakagami H and Miwa. A new method for testing filtration efficiency of mask materials under sneeze-like pressure. *In Vivo* 34(3 Suppl):1637-1644, 2020. PMID: 32503823 doi: 10.21873/invivo.11955, 2020,5
- 3) Nakaya G, Sakagami H, Koga-Ogawa Y, Shiroto A, Nobesawa T, Ueda D, Nakatani S, Kobata K, Iijima Y, Tone S, David-Gonzalez A, Garcia-Contreras R, Tomomura M, Kito S, Tamura N and Takeshima H. Augmentation of neurotoxicity of anticancer drugs by X-ray irradiation. *In Vivo* 34 (3): 1009-1016, 2020. May-June doi: 10.21873/invivo.11869. PMID: 32354886, 2020,5
- 4) Masuda Y, Sakagami H, Yokose S and Udagawa N. Effect of small-molecule GSK3 antagonist on differentiation of rat dental pulp cells into odontoblasts. *In Vivo* 34 (3): 1071-1075, 2020. May-June doi: 10.21873/invivo.11877. PMID: 32354894, 2020,5
- 5) Bilginer S, Gul HI, Erdal FS, Sakagami H and Gulcin I. New halogenated chalcones with cytotoxic and carbonic anhydrase inhibitory properties: 6-(3-Halogenated phenyl-2-propen-1-oyl)-2(3H)-benzoxazolones, *Arch Pharm (Weinheim)*. 2020 Jun;353(6):e1900384. doi: 10.1002/ardp.201900384 PMID: 32285546, 2020,6
- 6) Iijima Y, Bandow K, Amano S, Sano M, Hino S, Kaneko T, Horie N and Sakagami H. Protection of bortezomib-induced neurotoxicity by antioxidants. *Anticancer Res* 40(7): 3685-3696, 2020. doi: 10.21873/anticancer.14357. PMID: 32620607, 2020,7
- 7) Paulino-Gonzalez AD, Sakagami H, Bandow K, Kanda Y, Nagasawa Y, Hibino Y, Nakajima H, Yokose S, Amano O, Nakaya G, Koga-Ogawa Y, Shiroto A, Nobesawa T, Ueda D, Nakatani S, Kobata K, Iijima Y, Ifuku S, Yamamoto M and Garcia-Contreras R. Biological properties of the aggregated form of chitosan magnetic nanoparticle. *In Vivo* 34(4):1729-1738, 2020. doi: 10.21873/invivo.11966. PMID: 32606141, 2020,7
- 8) Shi H, Fukuchi K, Asai D, Terakubo S, Takemura H and Sakagami H. Quantification of antitumor, antiviral and neuroprotective activity of twenty Kampo

- preparations. *New Food Industry* 62(8): 599-607, 2020, 2020,8
- 9) Teratani M, Nakamura S, Sakagami H, Fujise M, Hashimoto M, Okudaira N, Bandow K, Iijima Y, Nagai J, Uesawa Y and Wakabayashi H. Antitumor effects and tumor-specificity of guaiazulene-3-carboxylate derivatives against oral squamous cell carcinoma in vitro. *Anticancer Res* 40(9): 4885-4894, 2020. doi: 10.21873/anticancerres.14491. PMID: 32878776, 2020,9
- 10) Fukuchi K, Sakagami H, Sugita Y, Takao K, Asai D, Terakubo S, Takemura H, Ohno H, Horiuchi M, Suguro M, Fujisawa T, Toeda K, Oizumi H, Yasui T and Oizumi T. Quantification of the ability of natural products to prevent herpes virus infection. *Medicines (Basel)*. 2020 Oct 6;7(10):E64. doi: 10.3390/medicines7100064. PMID: 33036124, 2020,10
- 11) Kucukoglu K, Gul HI and Sakagami H. Evaluation of Cytotoxic Properties of *N,N'*-bis[(1-aryl-3-heteroaryl)propylidene]-hydrazine dihydrochlorides. *Pharm Chem J* (2020) November <https://doi.org/10.1007/s11094-020-02274-z>, 2020,11
- 12) Umemura N, Sugimoto M, Kitoh Y, Saio M and Sakagami H. Metabolomic profiling of tumor-infiltrating macrophages during tumor growth. *Cancer Immunol Immunother*. 2020 Nov;69(11):2357-2369. doi: 10.1007/s00262-020-02622-8. PMID: 32518979, 2020,11
- 13) Tugrak M, Gul HI, Sakagami H, Kaya R and Gulcin I. Synthesis and biological evaluation of new pyrazolebenzene-sulphonamides as potential anticancer agents and hCA I and II inhibitors. *Turk J Chem* 44 online: 12.11.2020 DOI: 10.3906/kim-2009-37, 2020,12
- 14) Yokose S, Kato Y, Matsumoto K, Klokkevold PR, Takei HH, Kawazu H and Sakagami H. Enamel matrix derivative in diffusion chamber implanted subcutaneously in rat induces formation of fibrous connective tissue containing abundant blood vessels. *In Vivo*. 2021 Jan-Feb;35(1):313-317. doi: 10.21873/invivo.12261. PMID: 33402479, 2021,1
- 15) Yamali C, Sakagami H, Uesawa Y, Kurosaki K, Satoh K, Masuda Y, Yokose S, Ece A, Bua S, Angeli A, Supuran CT and Gul HI. Comprehensive study on potent and selective carbonic anhydrase inhibitors: Synthesis, bioactivities and molecular modelling studies of 4-(3-(2-arylidenehydrazine-1-carbonyl)-5-(thiophen-2-yl)-1H-pyrazole-1-yl) benzenesulfonamides. *Eur J Med Chem*. 2021 Mar 6;217:113351. doi: 10.1016/j.ejmech.2021.113351. PMID: 33744685, 2021,3
- 16) Abe H, Okazawa M, Oyama T, Yamazaki H, Yoshimori A, Kamiya T, Tsukimoto M,

Takao K, Sugita Y, Sakagami H, Abe T and Tanuma SI. A unique anti-cancer 3-styrylchromone suppresses inflammatory response via HMGB1-RAGE signaling. *Medicines (Basel)*. 2021 Mar 24;8(4):17. doi: 10.3390/medicines8040017. PMID: 33805209, 2021,3

## 2. 総説

- 1) Xiao L, Sakagami H and Miwa N. ACE2: The key Molecule for understanding the pathophysiology of severe and critical conditions of COVID-19: Demon or angel?, *Viruses* 2020, 12, 491; doi:10.3390/v12050491 28 April 2020, 2020,4
- 2) Sugita Y, Takao K, Uesawa Y, Nagai J, Iijima Y, Sano M and Sakagami H. Development of newly synthesized chromone derivatives with high tumor specificity against human oral squamous cell carcinoma. Review, *Medicines (Basel)*. 2020 Aug 26;7(9):E50. doi: 10.3390/medicines7090050, 2020,8

## 4. 短報

- 1) 齋田圭子、齋田悟、八幡由花紫、三間修、坂上宏、佐野愛子、鈴木龍一郎、アピカ齋田イヌトウキ（日本山人参） 5~7年根に豊富なアルギニンと GABA、*Food Industry* 62(6): 399-402, 2020, 2020,6
- 2) 鈴木龍一郎、佐野愛子、粕谷優貴、白瀧義明、坂上宏、宮田順次、紹興酒の熟成に伴うアミノ酸代謝物の組成変化、*New Food Industry* 62 (7): 502-506, 2020, 2020,7

## C. その他の刊行物など

- 1) 佐々木悠、渡辺秀司、片岡加奈子、両角旦、鈴木光雄、遠山歳三、坂上宏、浜田信城. 漢方の効能、グレープフルーツ種子抽出液の殺菌効果と臨床応用. *New Food Industry* 62(4): 285-288, 2020, 2020,4
- 2) 渡辺秀司、浜田信城、鈴木光雄、遠山歳三、佐々木悠、坂上宏、堀江憲夫. 漢方の効能、立効散新症例. *New Food Industr* 62 (5): 373-377, 2020, 2020,5
- 3) 坂上宏. 特別企画 ダイバーシティ・マネジメント：新型コロナウイルス危機の影響と対処法について考える. 誌上シンポジウム *New Food Industry* 62(6): 429-431, 2020, 2020,6
- 4) Rene Garcia-Contreras (Translated into Japanese by Sakagami H), How pandemic affect our life and how to deal with it?, *New Food Industry* 62 (6): 445-447, 2020, 2020,6
- 5) Angel David Paulino-Gonzalez (Translated into Japanese by Sakagami H), Impact and overview of the pandemic in Mexico, *New Food Industry* 62 (6): 452-455, 2020, 2020,6

- 6) 吉原正晶、中村功、坂上宏. モンゴルの食材と文化的交流. Food Industry 62(6): 426-428, 2020, 2020,6
- 7) 佐々木悠、渡辺秀司、片岡加奈子、両角旦、鈴木光雄、遠山歳三、浜田信城、坂上宏. 漢方の効能、十全大輔湯の薬理作用と歯科治療への応用. Food Industry 62(6): 415-419, 2020, 2020,6
- 8) 戴秋娟 (Translated into English by Sakagami H). 新型コロナウイルスの流行で変わったわれわれの生活. New Food Industry 62 (6): 436-440, 2020, 2020,6
- 9) 坂上宏. 「五葉松の粒」の抗ウイルス作用. 健康 365:17(7): 92-95, 2020, 2020,7
- 10) Bautista-Martinez D, Yokose S, Scougall-Vilchis RJ and Sakagami H, Studying abroad: perspectives of Japan' s daily life, New Food Industry 62 (7): 531-535, 2020, 2020,7
- 11) 島田明、牧浦啓輔、山本正次、福地邦彦、坂上宏. 松かさエキス配合試作品による単純ヘルペスウイルス感染性の抑制. New Food Industry 62 (7): 497-501, 2020, 2020,7
- 12) 田村暢章、坂上宏、松田玲於奈、竹島 浩. 第30回日本老年歯科医学会学術大会に参加して～フレイルに対する対処法. New Food Industry 62(8): 589-593, 2020, 2020,8
- 13) Sakagami H. South Africa Communications~ Alpine plants live robustly in Table Mountain. New Food Industry 62 (9) 695-699, 2020, 2020,9
- 14) 坂上宏. 「五葉松の粒」抗ウイルス・免疫力向上作用. 健康 365:17(10): 68-71, 2020, 2020,10
- 15) Sakagami H. How to potentiate the immunity in the age of telework: Living comfortably in the corona crisis~ Mental health and outdoor activities. New Food Industry 62(10): 714-718, 2020, 2020,10
- 16) 李娜、坂上宏,世界の学食 (5) -青島の sea food. New Food Industry 62(10): 765-768, 2020, 2020,10
- 17) 坂上宏、福地邦彦、浅井大輔、寺久保繁美、竹村弘、堀内美咲、藤澤知弘、勝呂まどか、戸枝一喜、安井利一、大泉浩史、大泉高明. クマ笹葉アルカリ抽出液 (ササヘルス®) は、瞬間的にウイルスを不活化する. New Food Industry 62(11): 785-790. 2020, 2020,11
- 18) 坂上宏、杉田義昭、高尾浩一、永井純子、植沢芳広、飯島洋介、佐野元彦. 腫瘍選択性が高く、副作用が低い新規クロモン誘導体の開発. New Food Industry 62 (12): 871-881, 2020, 2020,12
- 19) 坂上宏. 新春巻頭言: コロナ禍での生活設計. New Food Industry 63(1), 1-2, 2021, 2021,1

## D. 学会発表

### (3) 一般演題

- 1) 松田玲於奈, 田村 暢章, 竹島 浩, 坂上 宏. 抗酸化剤の腫瘍選択性と神経保護作用の定量化による再検討. 第31回日本老年歯科医学会. パシフィコ横浜、2020,6
- 2) 飯島 洋介、天野 滋、坂東 二郎、佐野 元彦、仲山 奈見、山田 美喜、日野 峻輔、金子 貴広、堀江 憲夫、坂上 宏. Protection of Bortezomib-induced Neurotoxicity by Antioxidants. 第62回歯科基礎医学会学術大会、鹿児島、2020.9.

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 坂上宏 (代表): 基盤研究(C) (20K09885): がん細胞に対するクロモン誘導体の選択毒性機構の解明. 研究機関: 2020-04-01 - 2023-03-31
- 2) 坂上宏 (分担)、藤内祝 (代表): 基盤研究(B) (20H03893): 口腔癌に対する腫瘍選択性磁性体を用いたハイパーサーミアによる低侵襲的治療の開発. 研究期間: 2020-04-01 - 2023-03-31

### 4. 受託研究費等

- 1) 坂上宏: 株式会社大和生物研究所, クマ笹抽出物の口腔環境改善等への影響や作用機序に関する研究
- 2) 坂上宏: 日本三晶製薬株式会社, 松の実抽出物の各種抗ウイルス等に及ぼす影響の検討
- 3) 坂上宏: 特に、肺癌細胞に対するイヌトウキの選択毒性—抗がん剤との併用効果を探る研究に対する助成